

# 米先物取引の試験上場に関する シーズンレポート

**O#JRE:**

限月	現値	東京 前日比	コメ 始値	高値	東穀 安値	JPY 出来高	SC0 出来高	帳入値	帳入 日付
SEP2	14850	0	14850	14850	14850	2			08-30
OCT2	↑15120	+10	15110	15120	15110	12			08-30
NOV2	↓14900	-50	14950	14950	14900	52			08-30
DEC2	↓14860	+10	15250	15250	14860	27			08-30
JAN3	↑15010	+10	15000	15010	15000	56			08-30
FEB3	↑15200	+200	15000	15200	15000	101			08-30

**試験上場中**

**O#JWR:**

限月	SEP2	関西 OCT2	コメ NOV2	DEC2	関西 JAN3	JPY
ハナ枚数						
前日終値	15460	15610	15660	15710	16180	
前場1節	15460	15610	15660	15710	16180	
前場2節	15400	15620	15670	15720	16190	
前場3節	15400	15620	15670	15720	16190	
後場1節	15400	15620	15670	15720	16190	
後場2節	15400	15620				
後場3節	15400	15620				
前日比	-60	+10				
出来高	18	40				



前日比	18	40
出来高	-60	+10
前日終値	12400	12250
前場3節	12400	12250
後場1節	12400	12250

平成 2 4 年 9 月

農林水産省

## 【本資料の目的】

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としております。

今回の本レポートは、本年6月から8月までを主な対象としております。

※ 認可されている試験上場の期間は、平成23年8月8日から2年間です。

- 1 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあり得ます。
- 2 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 3 このほか、本レポートの利用上の注意、用語解説については、巻末に記載しております。

# 目次

1. 米先物取引の試験上場の現状	
(1) 取引価格の動向	
① 取引価格の推移	2
② 日々の始値、高値、安値、終値の推移	4
③ 値幅制限等の発動状況	7
④ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、納会・8月末値段	8
(2) 取引量の動向	
① 出来高（市場における注文成立数）の推移	10
② 1日の平均出来高（市場における注文成立数）の推移	12
③ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較	13
④ 限月別の出来高状況	15
⑤ 海外からの取引参加状況（東京穀物商品取引所）	17
(3) 取組高、取引参加者の動向	
① 取組高（東穀、関西取合計）の推移	18
② 取引所別の取組高の推移	18
③ 限月別の取組高の状況	20
④ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移	21
(4) 現物受渡しの状況	
① 限月別の現物受渡しの状況	22
② 産地品種銘柄の割合	24
(5) 取引参加者の構成	
① 当業者・非当業者の割合	25
② 建玉報告対象者の割合	26
2. 関連情報	
(1) 米の取引価格及び数量	
① 相対取引価格・数量	28
② 小売物価統計による推移	32
(2) 期近限月の終値と自由米価格（スポット価格）の値動き	33
(3) 平成23年産水稲の作柄概況	
① 全国・都道府県別作況指数	34
② 平成23年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）	34
③ 水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）	35
(4) 平成24年産水稲の作柄概況	
① 早場地帯の作柄の良否	36
② 平成24年産水稲早場地帯の作柄状況（8月15日現在）	37
(5) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	
① 工業品の動向（東京工業品取引所）	38
② 株価の動向（日経平均株価（225種））	41
③ 為替の動向（対米ドル、TTS）	41
3. データ集	
(1) 東京穀物商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	44
(2) 関西商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	47
4. 参考資料	

## 米の試験上場に係る1年間の経過

### 【これまでの経過】

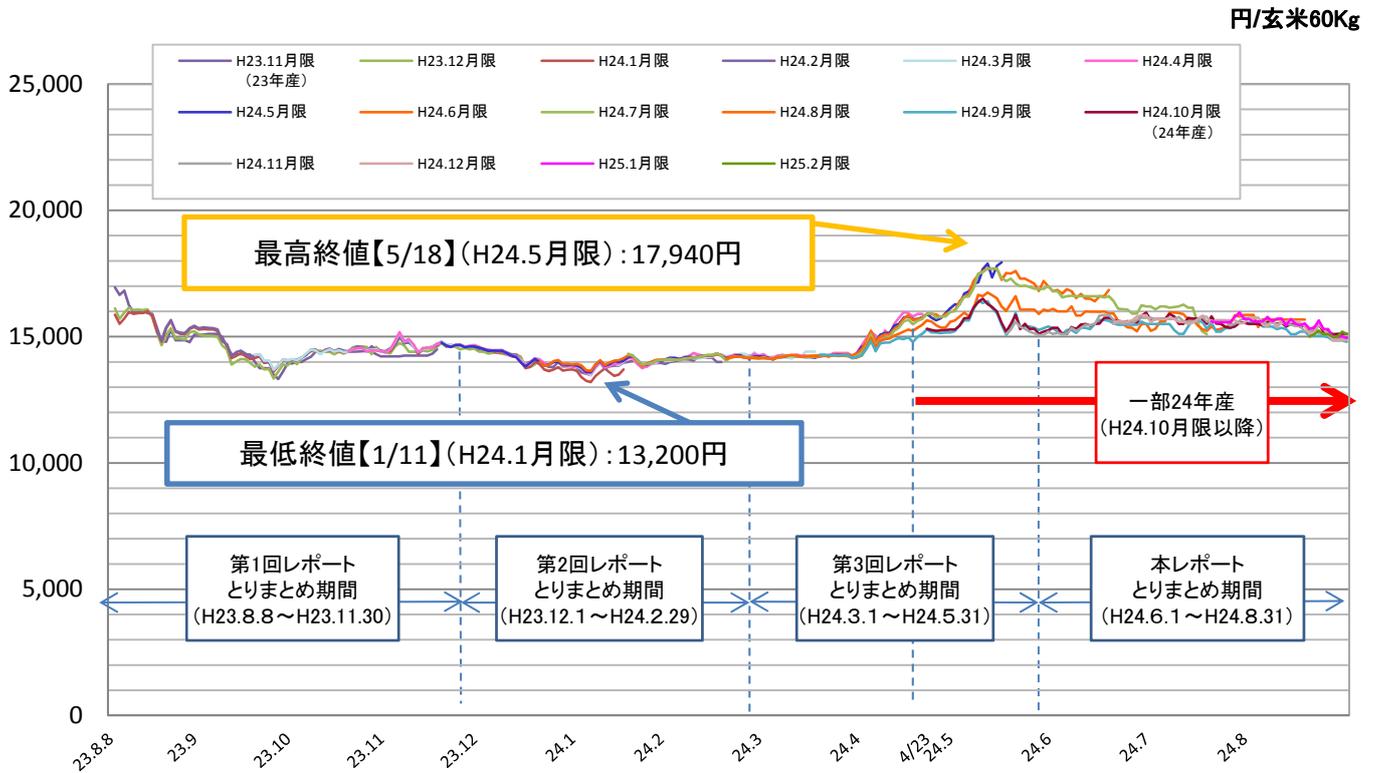
- 平成23年3月8日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場の認可申請
- 平成23年7月1日 ・米の試験上場の認可
- 平成23年8月8日 ・取引開始(2年間)
- 平成23年11月10日 ・関西商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、14枚(42トン)の現物受渡し
- 平成23年11月18日 ・東京穀物商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、16枚(96トン)の現物受渡し
- 平成23年12月13日 ・第1回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
- 平成24年1月4日 ・東京穀物商品取引所が値幅制限(サーキット・ブレーカー)の運用方法を変更(1日に許容する値動き幅を縮小等)
- 平成24年3月19日 ・第2回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
- 平成24年3月30日 ・関西商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産新穀)の価格調整表を制定
- 平成24年4月1日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100bq/kgとすることを決定(参考資料P52)  
・東京穀物商品取引所が米の先物取引における受渡地を拡大(参考資料P54)  
・東京穀物商品取引所が米の先物取引の現物受渡し方法の柔軟化として、合意早受渡し制度を導入(参考資料P55)
- 平成24年4月9日 ・東京穀物商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産新穀)の価格調整表を制定
- 平成24年5月29日 ・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表(参考資料P58)  
〔平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所(東京商品取引所に名称変更の予定)に、米を関西商品取引所に移管〕
- 平成24年6月20日 ・関西商品取引所が平成25年1月限～3月限(24年産新穀)の価格調整表を制定(参考資料P59)  
・第3回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
- 平成24年7月6日 ・東京穀物商品取引所が平成25年1月限～3月限(24年産新穀)の価格調整表を制定(参考資料P59)

# 1. 米先物取引の試験上場の現状

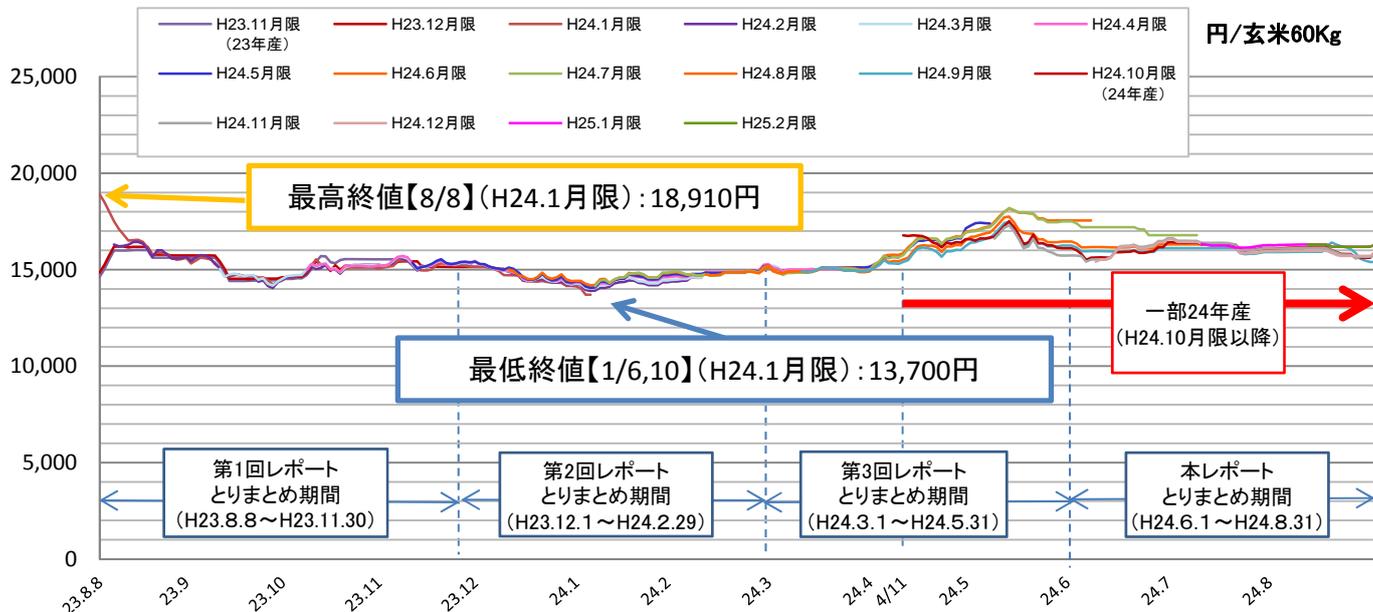
# (1) 取引価格の動向

## ①-1 取引価格の推移【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

### ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



### イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値

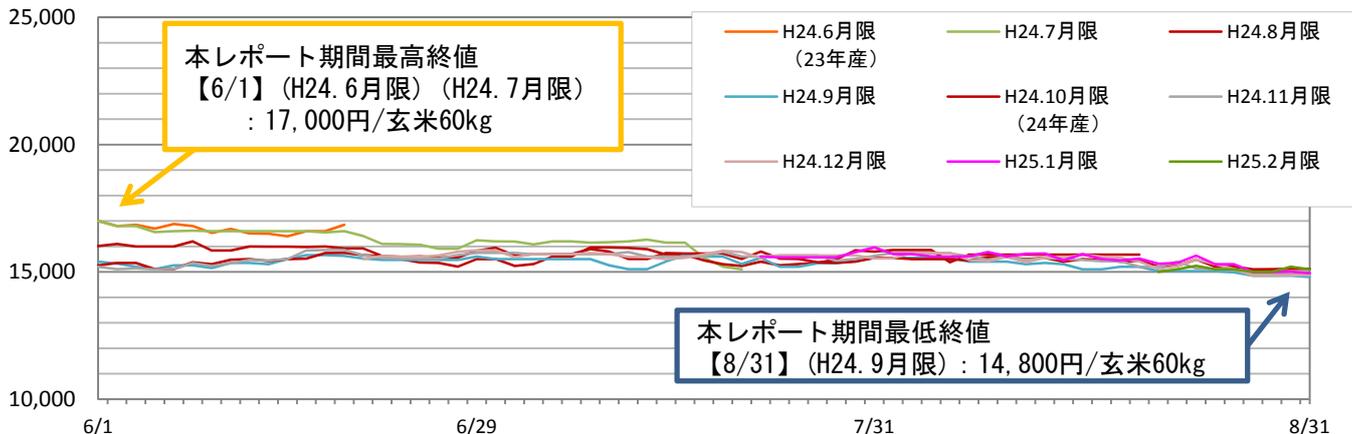


- 注1：価格は、平成23年8月8日から平成24年8月31日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。
- 注2：取引所が指定する倉庫の置き場渡し価格（包装代込み、消費税抜き。以下、米穀の先物取引の価格について同じ。）。
- 注3：月限とは、売買契約を決済しなければならない期限の月。
- 注4：H23.11月限～H24.9月限までは23年産米、H24.10月限以降は24年産米を標準品として取引。

①-2 取引価格の推移【平成24年6月1日～平成24年8月31日】

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値

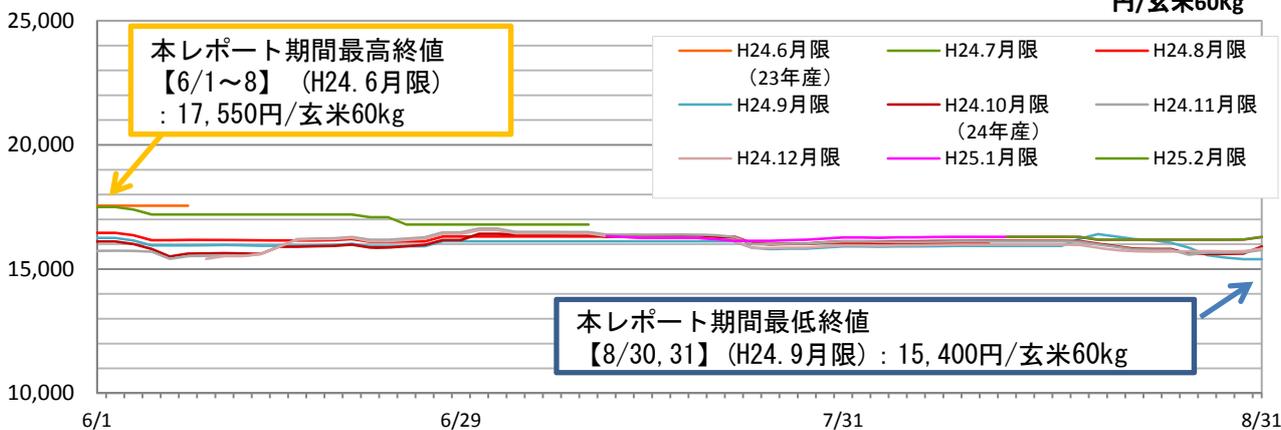
円/玄米60kg



	6月1日	6月29日	7月31日	8月31日	最高(年月日)	最低(年月日)	
23年産	H24.6月限	17,000			17,000(24.6.1)	16,400(24.6.15)	
	H24.7月限	17,000	16,240		17,000(24.6.1)	15,100(24.7.20)	
	H24.8月限	16,020	15,500	15,800	16,200(24.6.8)	15,210(24.6.28)	
	H24.9月限	15,400	15,600	15,550	15,660(24.6.18・19.7.17)	14,800(24.8.31)	
24年産	H24.10月限	15,250	15,830	15,550	15,950(24.7.2)	15,100(24.8.28)	
	H24.11月限	15,200	15,750	15,630	15,860(24.6.19・20)	14,900(24.8.30・31)	
	H24.12月限		15,850	15,530	15,850(24.6.29.7.2)	14,850(24.8.28・29)	
	H25.1月限			15,960	14,950	15,960(24.7.31)	14,950(24.8.31)
	H25.2月限				15,100	15,240(24.8.23)	15,000(24.8.21・28・29)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値

円/玄米60kg



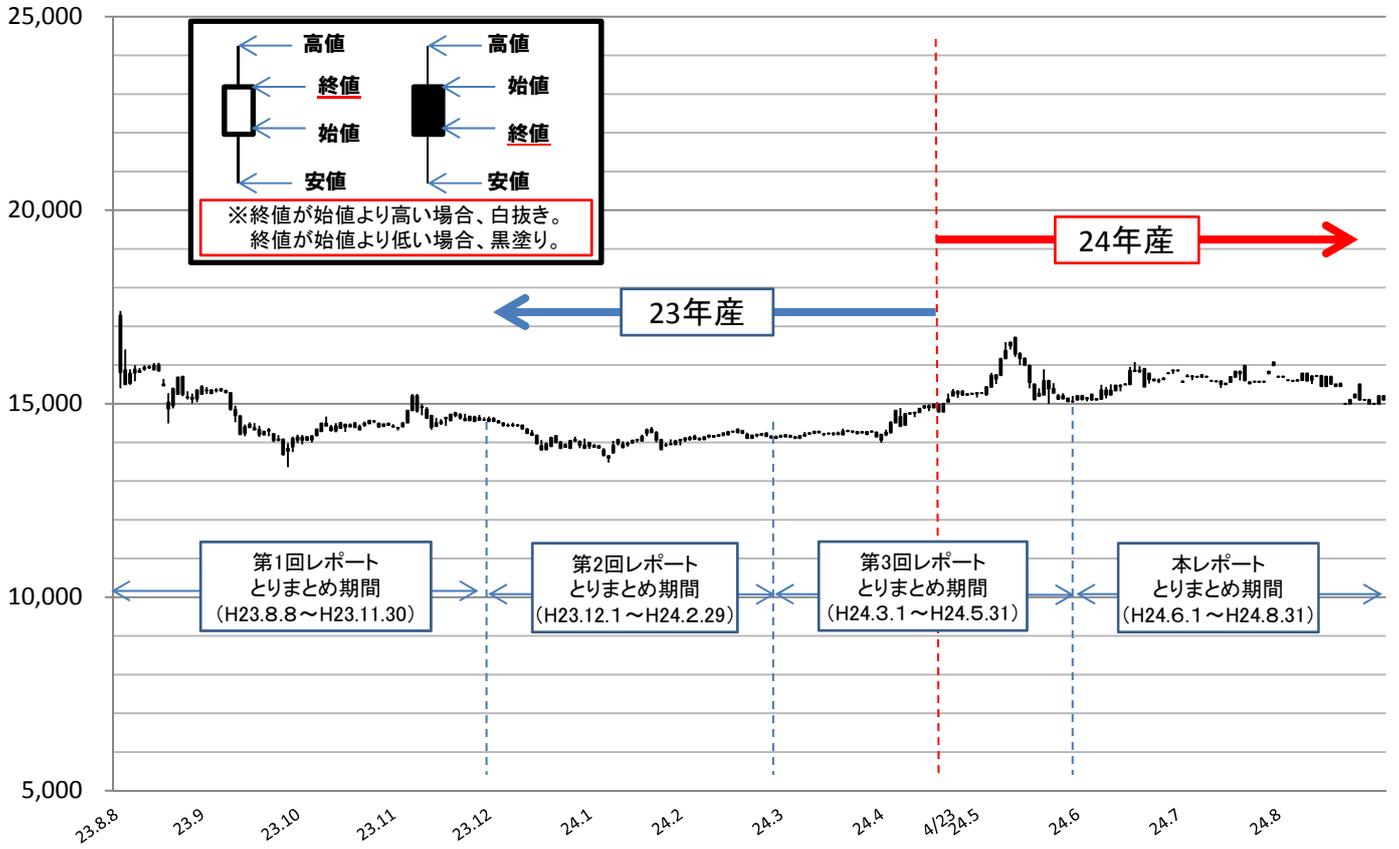
	6月1日	6月29日	7月31日	8月31日	最高(年月日)	最低(年月日)	
23年産	H24.6月限	17,550			17,550(24.6.1~8)	17,550(24.6.1~8)	
	H24.7月限	17,500	16,790		17,500(24.6.1・4)	16,790(24.6.26~7.10)	
	H24.8月限	16,460	16,310	16,060	16,460(24.6.1・4)	15,990(24.7.25)	
	H24.9月限	16,250	16,120	15,910	15,400	16,410(24.8.20)	15,400(24.8.30・31)
24年産	H24.10月限	16,110	16,170	16,120	15,910	16,420(24.7.2・3)	15,510(24.6.7)
	H24.11月限	15,730	16,480	16,110	15,770	16,630(24.7.2・3)	15,410(24.6.7)
	H24.12月限		16,420	15,950	15,820	16,570(24.7.2・3)	15,410(24.6.11)
	H25.1月限			16,270	16,290	16,330(24.7.11)	16,140(24.7.23~25)
	H25.2月限				16,290	16,300(24.8.13~16)	16,180(24.8.20~29)

注：価格は、平成24年6月1日から平成24年8月31日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

②-1 日々の始値、高値、安値、終値の推移【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

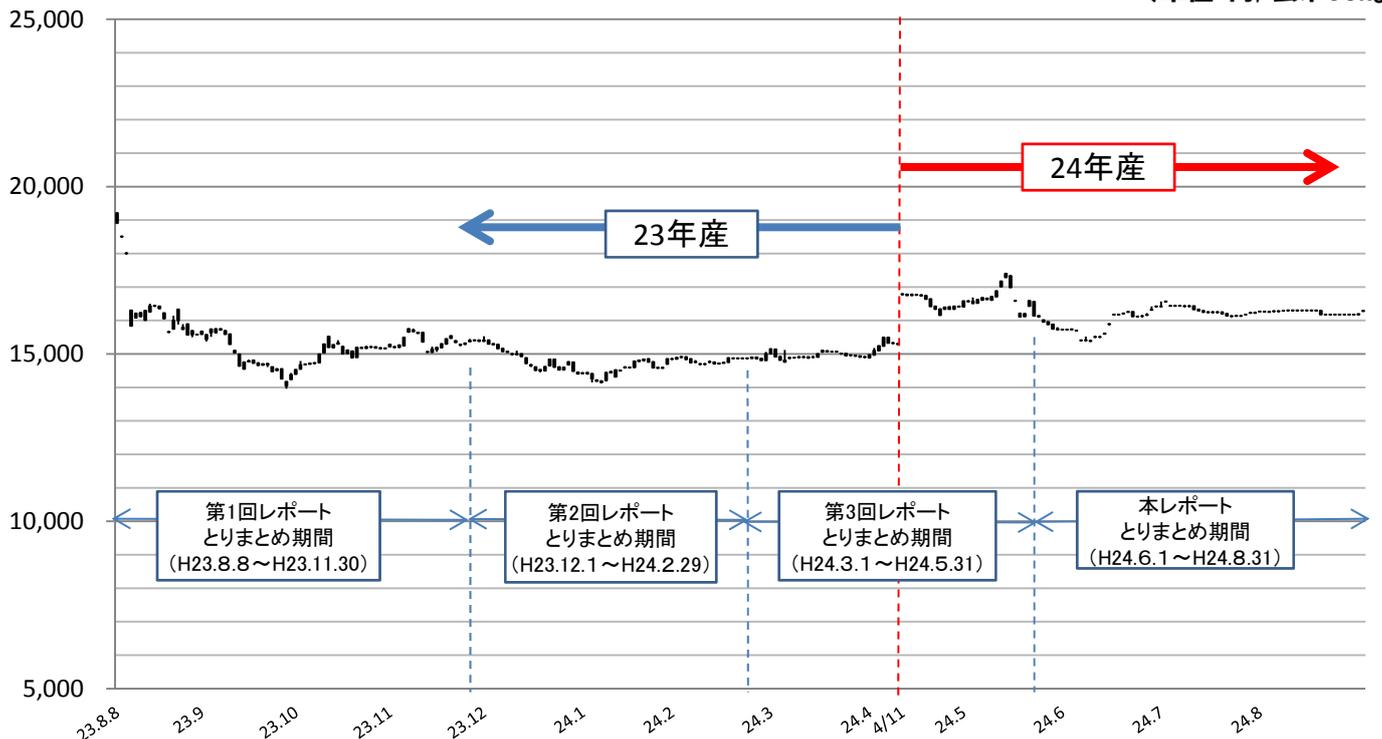
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

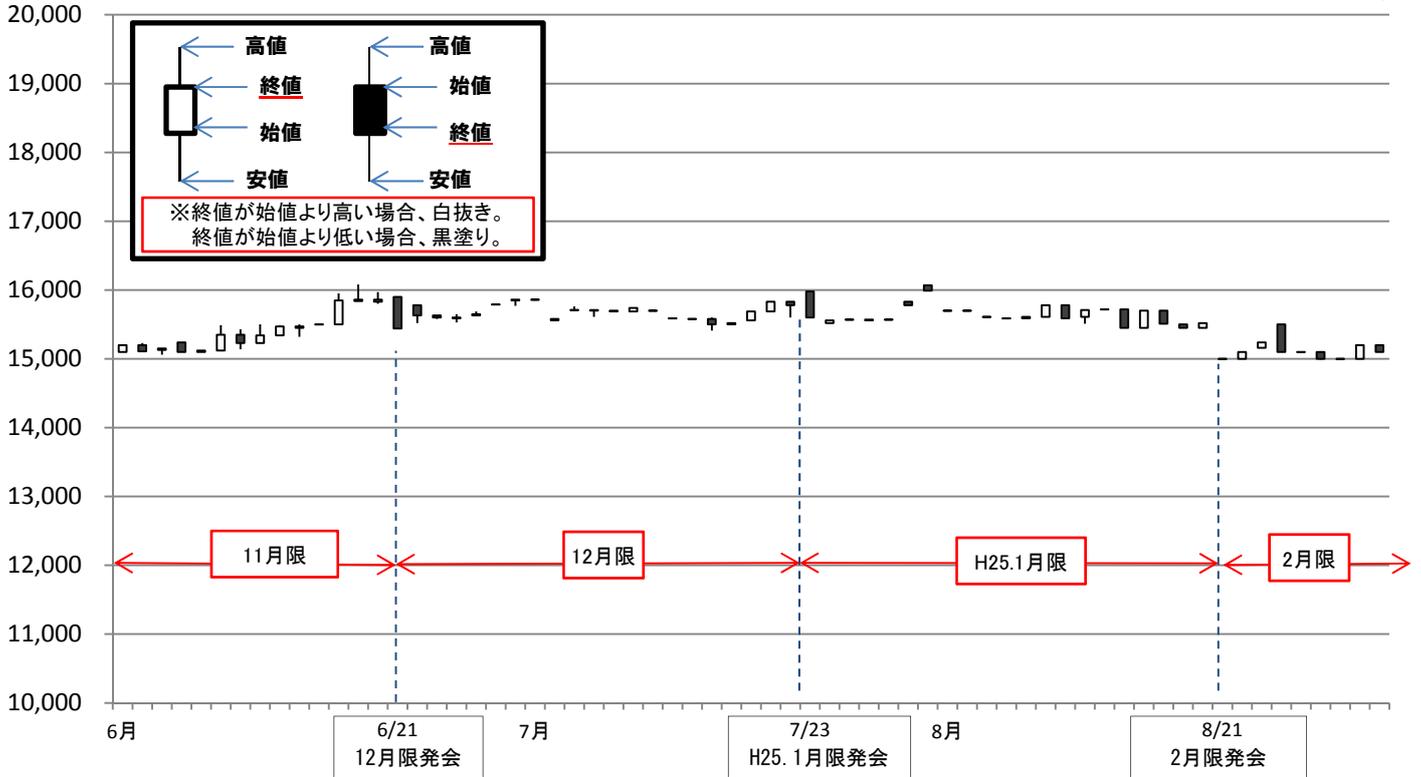
(単位:円/玄米60kg)



②-2 日々の始値、高値、安値、終値の推移【平成24年6月1日～平成24年8月31日】

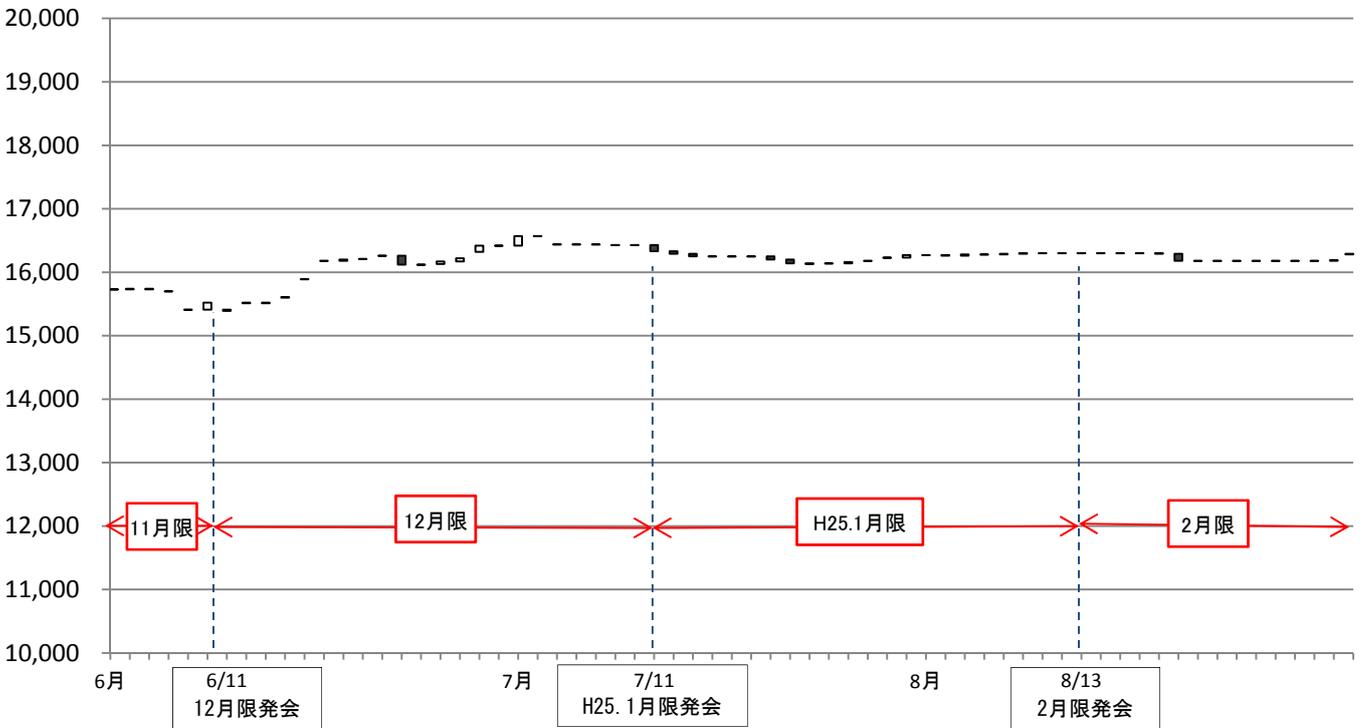
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

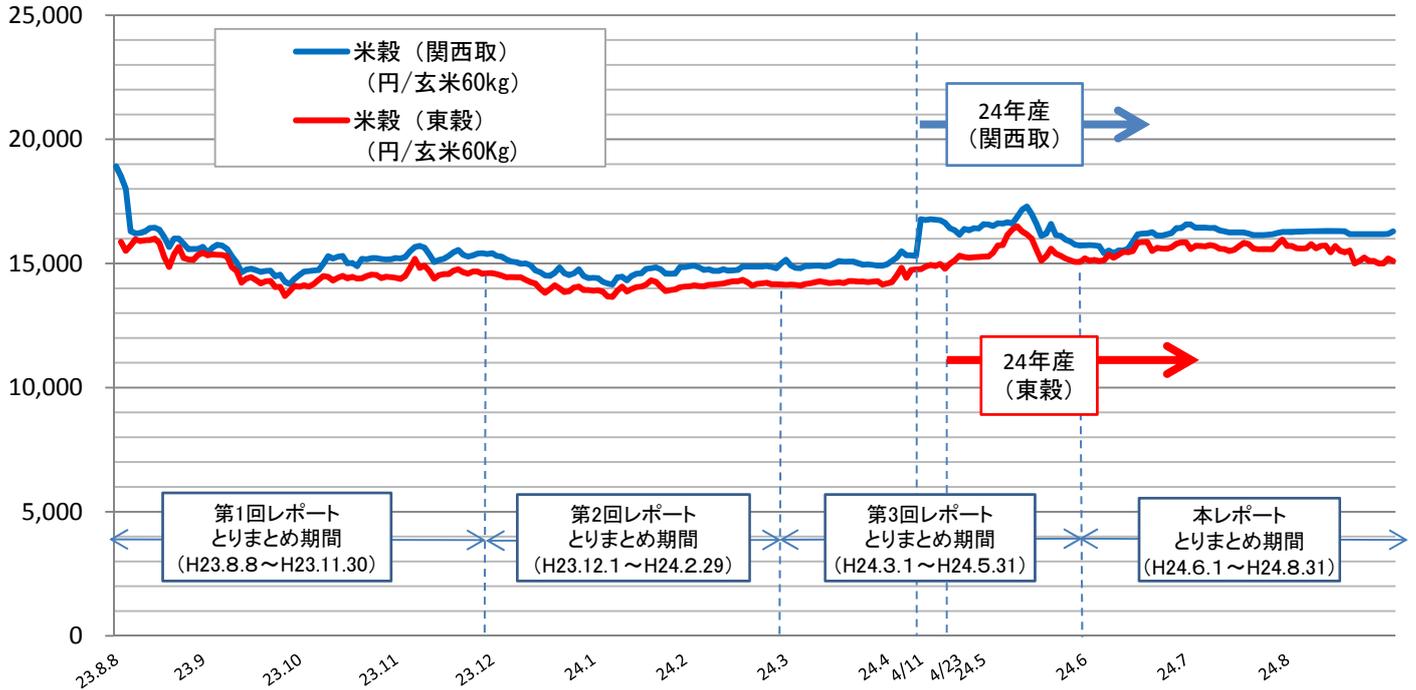


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の始値(東穀の場合、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。関西取の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京穀物商品取引所の場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

(参考) 東京穀物商品取引所・関西商品取引所の米穀の値動き(期先限月の終値)

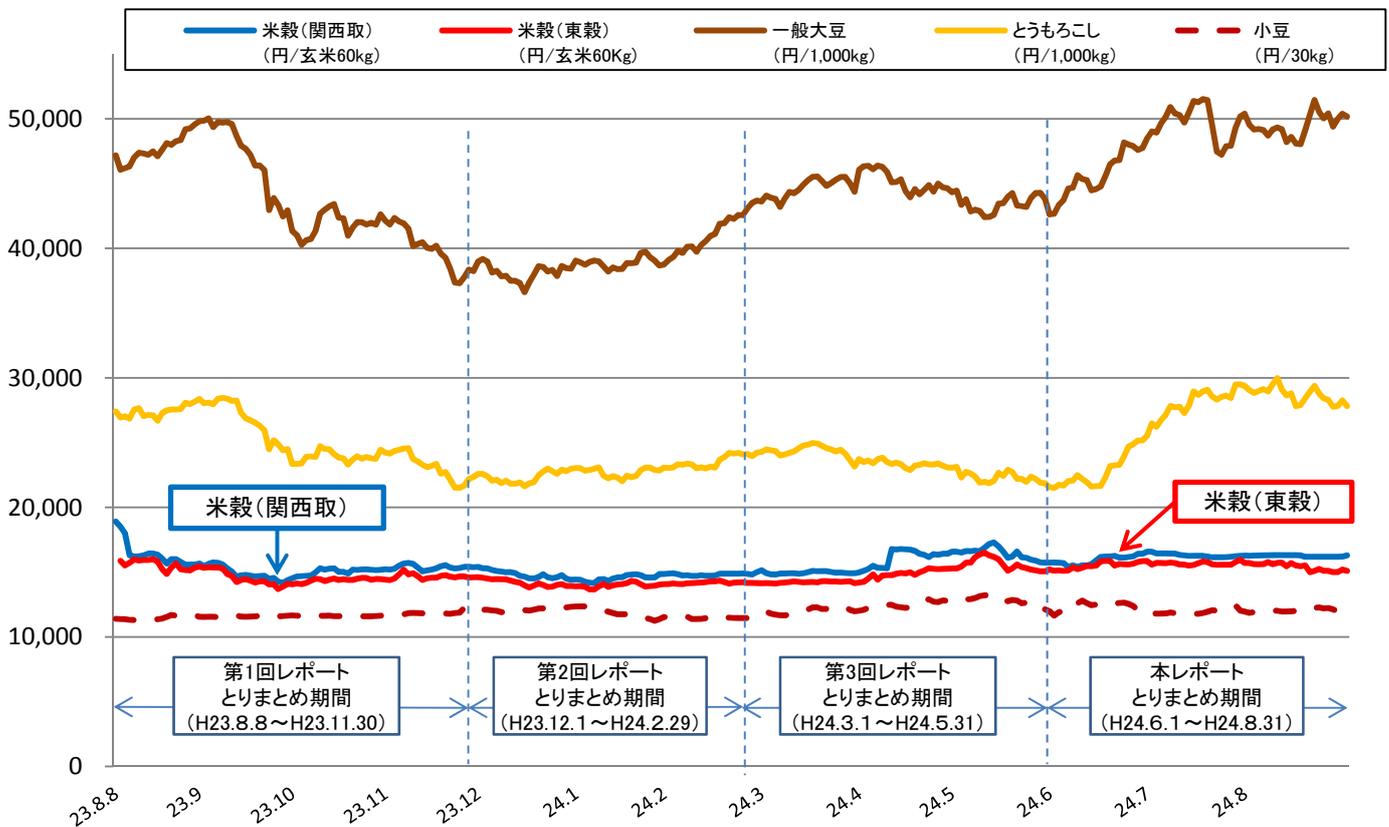
【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:円/玄米60kg)



(参考) 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の値動き(期先限月の終値)

(単位:円)



注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の終値又は帳入値。

### ③ 値幅制限等の発動状況【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

#### ア 東京穀物商品取引所(サーキットブレーカー(CB))

年月(営業日数)	発動数	発動日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	68回	13日	3.78
9月(20日)	8回	8日	0.40
10月(20日)	2回	2日	0.10
11月(20日)	5回	5日	0.25
12月(21日)	1回	1日	0.05
平成24年1月(19日)	7回	2日	0.37
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	27回	10日	1.35
5月(21日)	41回	15日	1.95
6月(21日)	10回	9日	0.48
7月(21日)	11回	10日	0.52
8月(23日)	7回	7日	0.30

(注)平成24年1月4日より、CB運用方法を変更。

#### イ 関西商品取引所(値幅制限)

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	19回	9日	1.06
9月(20日)	12回	6日	0.60
10月(20日)	10回	5日	0.50
11月(20日)	2回	2日	0.10
12月(21日)	0回	0日	0.00
平成24年1月(19日)	0回	0日	0.00
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	8回	3日	0.40
5月(21日)	10回	5日	0.48
6月(21日)	4回	4日	0.19
7月(21日)	0回	0日	0.00
8月(23日)	1回	1日	0.04

注1:東京穀物商品取引所は、平成23年12月30日まではサーキットブレーカー(CB)発動回数。平成24年1月4日以降は、CBの運用方法の変更により、CBが発動した限月数。関西商品取引所は、終値が値幅制限に張り付いた限月数。

注2:東京穀物商品取引所のCBとは、値動きが一定幅に達した場合に、取引を一時停止し、市場の過熱を抑える仕組み。平成24年8月31日現在では、東京穀物商品取引所の1日の値幅は、最大で±600円/60kg以内。

注3:東京穀物商品取引所では、平成23年12月30日までは、1つの限月でCBが発動された場合、自動的に全ての限月でCBが発動されていたが、平成24年1月4日からは、値段が±600円(ただし、1回目は±300円)上昇又は下降した限月に限定してCBが発動する方式に変更。併せて、取引の停止時間を10分間から5分間に短縮。

注4:関西商品取引所の値幅制限とは、値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。平成24年8月31日現在では、関西商品取引所の1日の値幅は、最大で±500円/60kg以内(通常、±300円/60kg。その後、順次±400円/60kg、±500円/60kgに拡大。)

注5:両取引所ともにCB・値幅制限の幅、適用・解除時期は商品ごとに異なり、CB・値幅制限の幅については、商品の値動き等を勘案し、取引所が変更することがあり得る。また、異常な価格変動が生じた場合等は、商品先物取引法第118条第2号の規定に基づく主務大臣の命令により取引所が制限幅を変更。

④ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、納会・8月末値段

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会・8月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	8月末現在値段 (年月日)
23年11月限	17,400 (23.08.09)	17,730 (23.08.10)	13,320 (23.09.29)	14,500 (23.11.18)	取引終了
23年12月限	17,400 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,200 (23.09.29)	13,900 (23.12.20)	取引終了
24年1月限	17,280 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,120 (24.01.11)	13,700 (24.01.20)	取引終了
24年2月限	15,500 (23.08.22)	15,700 (23.08.26)	13,350 (23.09.29)	14,000 (24.02.20)	取引終了
24年3月限	14,200 (23.09.21)	15,240 (23.11.09)	13,360 (23.09.29)	14,410 (24.03.19)	取引終了
24年4月限	14,330 (23.10.21)	15,980 (24.04.16・17)	13,380 (24.01.11)	15,900 (24.04.20)	取引終了
24年5月限	14,700 (23.11.21)	17,940 (24.05.17・18)	13,440 (24.01.11)	17,940 (24.05.18)	取引終了
24年6月限	14,170 (23.12.21)	17,900 (24.05.15)	13,480 (24.01.11)	16,850 (24.06.20)	取引終了
24年7月限	14,240 (24.01.23)	17,700 (24.05.16,17)	13,820 (24.01.26)	15,100 (24.07.20)	取引終了
24年8月限	14,200 (24.02.21)	16,940 (24.05.16)	14,090 (24.03.07,24.04.02)	15,680 (24.08.20)	取引終了
24年9月限	14,200 (24.03.21)	16,690 (24.05.14)	13,990 (24.04.02)	取引継続中	14,800 (24.08.31)
24年10月限	15,210 (24.04.23)	16,710 (24.05.15)	15,100 (24.06.07・11, 24.08.28)	取引継続中	15,120 (24.08.31)
24年11月限	15,500 (24.05.21)	16,080 (24.06.19)	14,900 (24.08.30・31)	取引継続中	14,900 (24.08.31)
24年12月限	15,900 (24.06.21)	15,900 (24.06.21)	14,850 (24.08.28・29)	取引継続中	14,880 (24.08.31)
25年1月限	15,980 (24.07.23)	16,070 (24.07.31)	14,900 (24.08.31)	取引継続中	14,900 (24.08.31)
25年2月限	15,000 (24.08.21)	15,500 (24.08.24)	14,990 (24.08.28)	取引継続中	15,100 (24.08.31)
全期間		17,940 (24.05.17・18)	13,120 (24.01.11)		

: 全レポート期間最高値

: 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P3に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

注2:また、納会・8月末値段は、平成24年8月31日現在において、取引が終了している平成23年11月限～平成24年8月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成24年9月限～平成25年2月限(青塗り)については平成24年8月31日現在の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会・8月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	8月末現在値段 (年月日)
23年11月限	14,320 (23.08.08)	16,060 (23.08.17)	14,320 (23.08.08)	15,540 (23.11.10)	取引終了
23年12月限	14,540 (23.08.08)	16,240 (23.08.11)	14,500 (23.09.21・22)	15,040 (23.12.09)	取引終了
24年1月限	19,210 (23.08.08)	19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)	13,700 (24.01.10)	取引終了
24年2月限	15,840 (23.08.11)	16,500 (23.08.17)	13,860 (23.09.29)	14,580 (24.02.10)	取引終了
24年3月限	15,100 (23.09.12)	15,740 (23.11.08)	13,960 (23.09.29)	14,930 (24.03.09)	取引終了
24年4月限	14,740 (23.10.11)	15,760 (23.11.08・09)	14,070 (24.01.10・11)	15,610 (24.04.10)	取引終了
24年5月限	15,640 (23.11.11)	17,440 (24.05.08)	14,060 (24.01.10・11)	17,390 (24.05.10)	取引終了
24年6月限	14,990 (23.12.12)	18,460 (24.05.17)	14,150 (24.01.06)	17,550 (24.6.08)	取引終了
24年7月限	14,190 (24.01.11)	18,480 (24.05.17)	14,140 (24.01.11)	16,790 (24.7.10)	取引終了
24年8月限	14,760 (24.02.13)	17,800 (24.05.17)	14,710 (24.02.14・15)	16,050 (24.8.10)	取引終了
24年9月限	14,910 (24.03.12)	17,500 (24.05.17)	14,880 (24.03.13)	取引継続中	15,400 (24.08.31)
24年10月限	16,790 (24.04.11)	17,550 (24.05.17)	15,510 (24.06.07・08)	取引継続中	15,910 (24.08.31)
24年11月限	16,710 (24.05.11)	17,400 (24.05.16)	15,400 (24.06.07)	取引継続中	15,770 (24.08.31)
24年12月限	15,390 (24.06.11)	16,570 (24.07.02・03)	15,390 (24.06.11)	取引継続中	15,820 (24.08.31)
25年1月限	16,430 (24.07.11)	16,430 (24.07.11)	16,130 (24.07.24)	取引継続中	16,290 (24.08.31)
25年2月限	16,300 (24.08.13)	16,300 (24.08.13~17)	16,180 (24.08.20~30)	取引継続中	16,290 (24.08.31)
全期間		19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)		

□ : 全レポート期間最高値

□ : 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P3に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

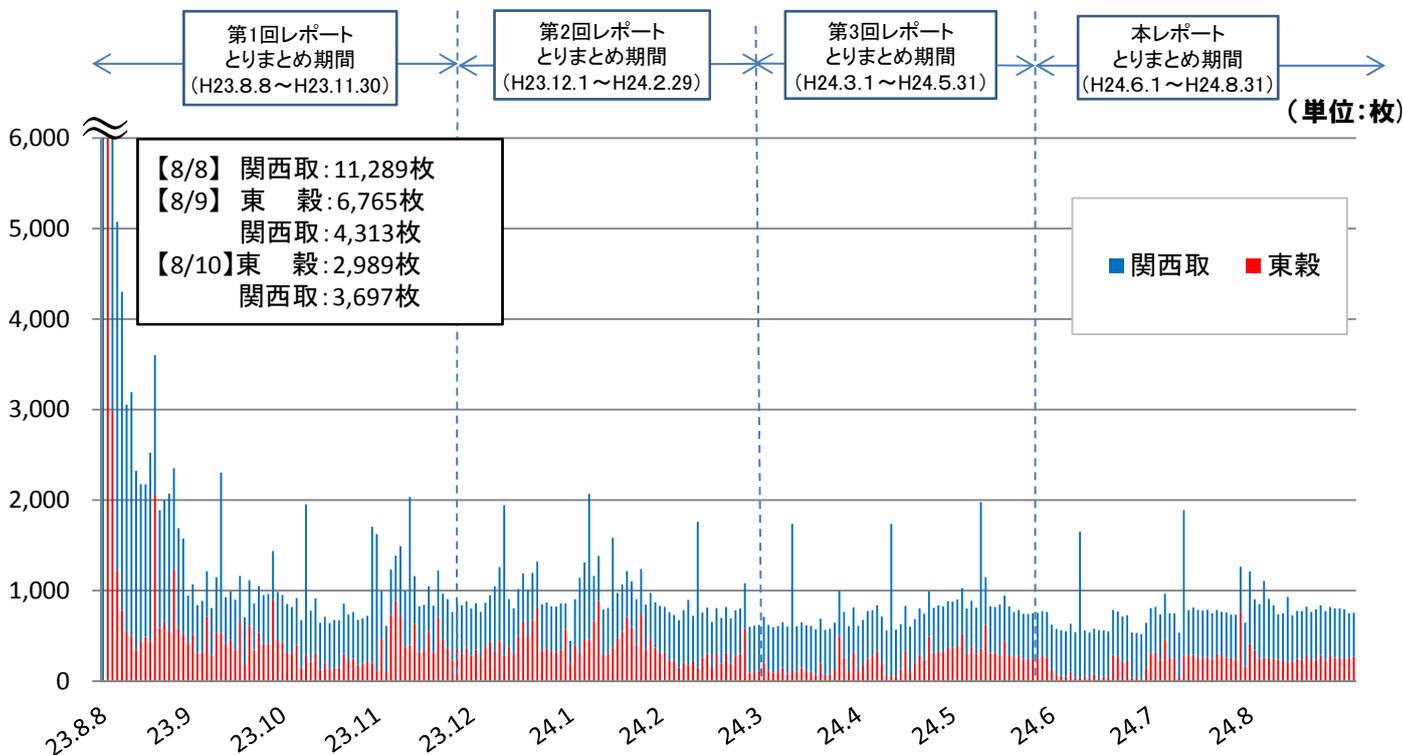
注2:また、納会・8月末値段は、平成24年8月31日現在において、取引が終了している平成23年11月限~平成24年8月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成24年9月限~平成25年2月限(青塗り)については平成24年8月31日現在の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。)

## (2) 取引量の動向

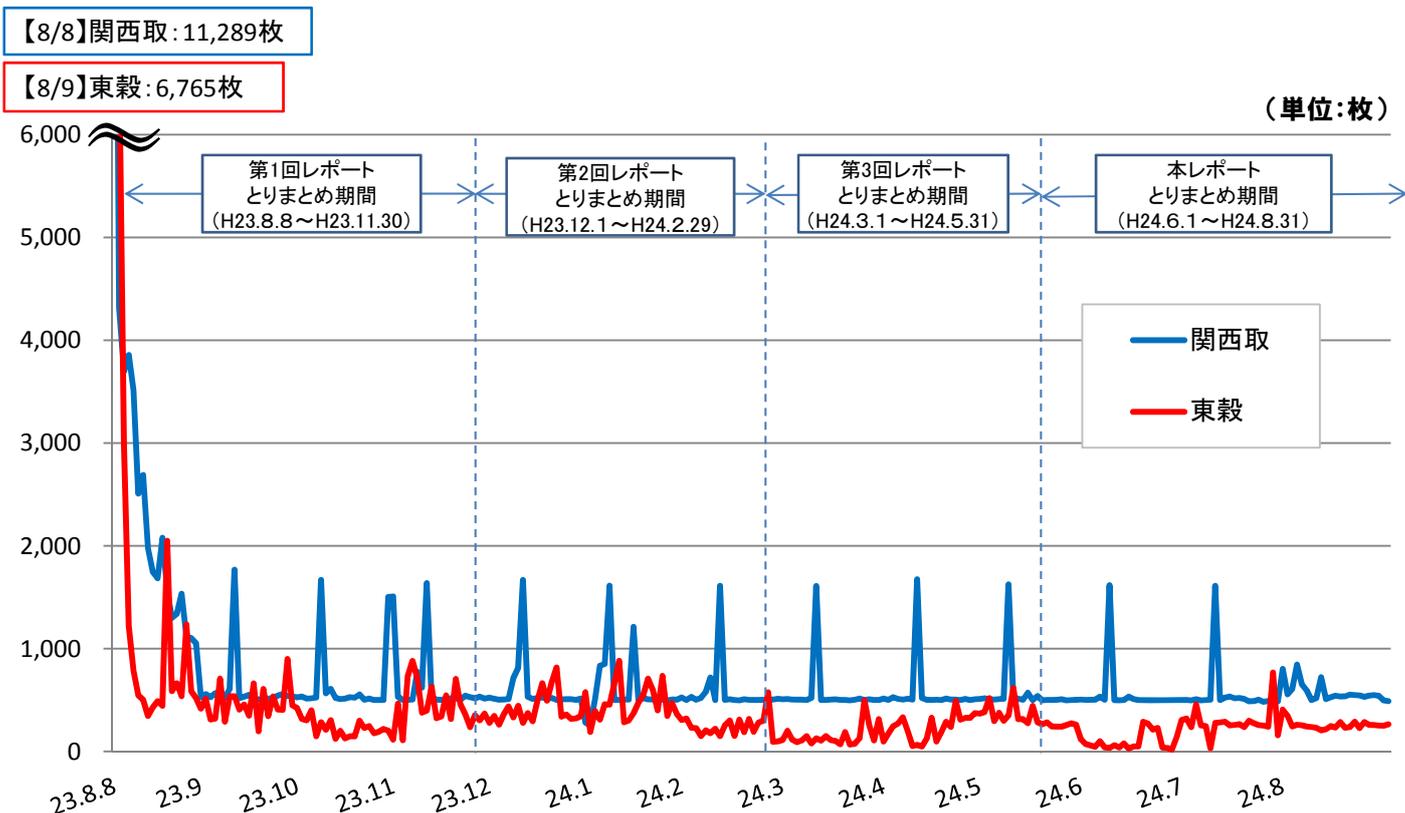
### ①-1 出来高(市場における注文成立数)の推移 【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

#### ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)

枚:先物市場での取引単位であり、米穀の場合、東穀は玄米重量で6トン(100俵)で1枚、関西取は玄米重量で3トン(50俵)で1枚。



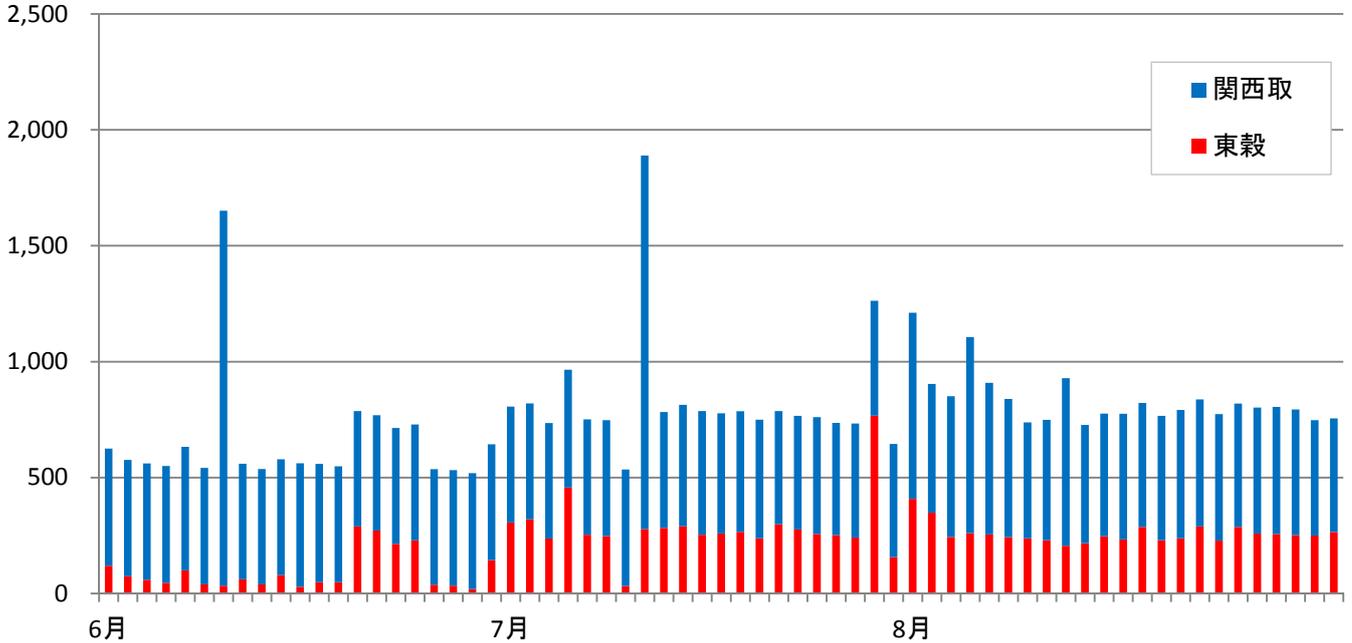
#### イ 取引所別の出来高の推移



①-2 出来高(市場における注文成立数)の推移【平成24年6月1日～平成24年8月31日】

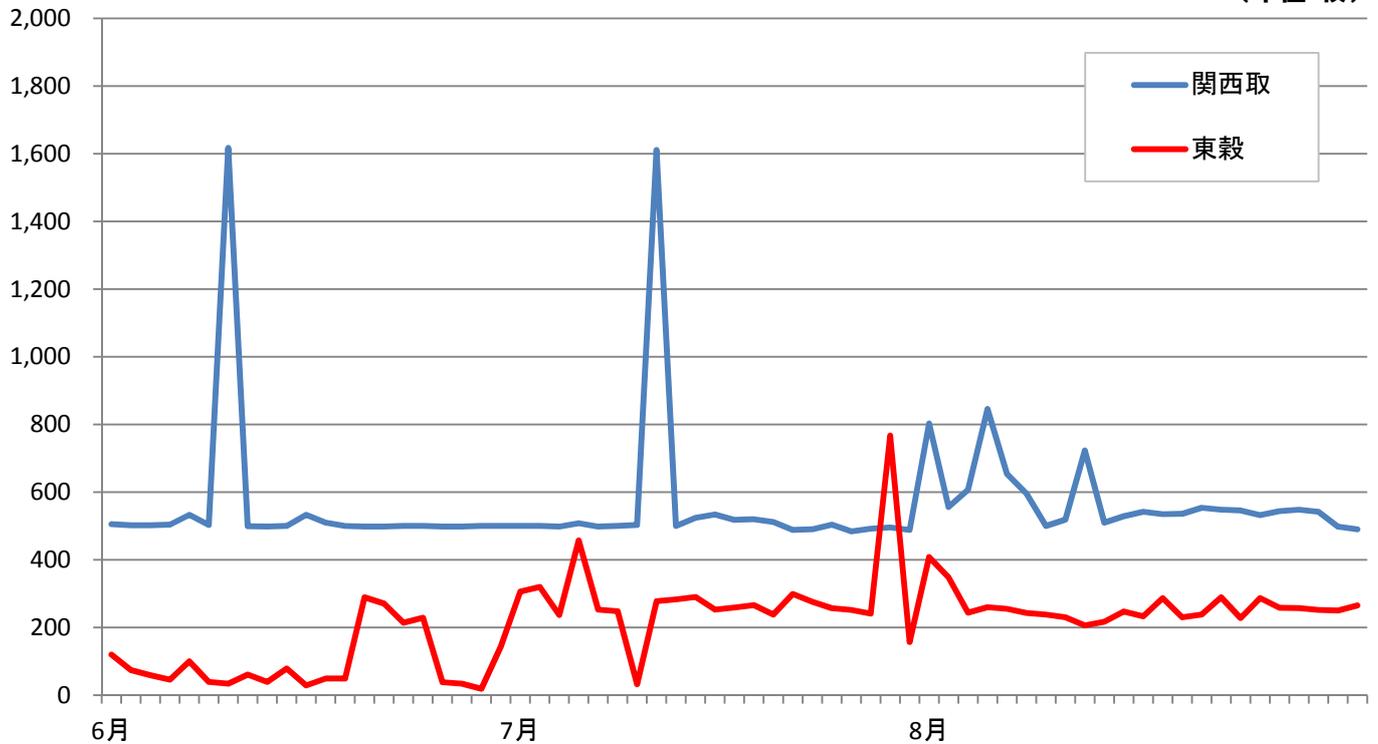
ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)

(単位:枚)



イ 取引所別の出来高の推移

(単位:枚)



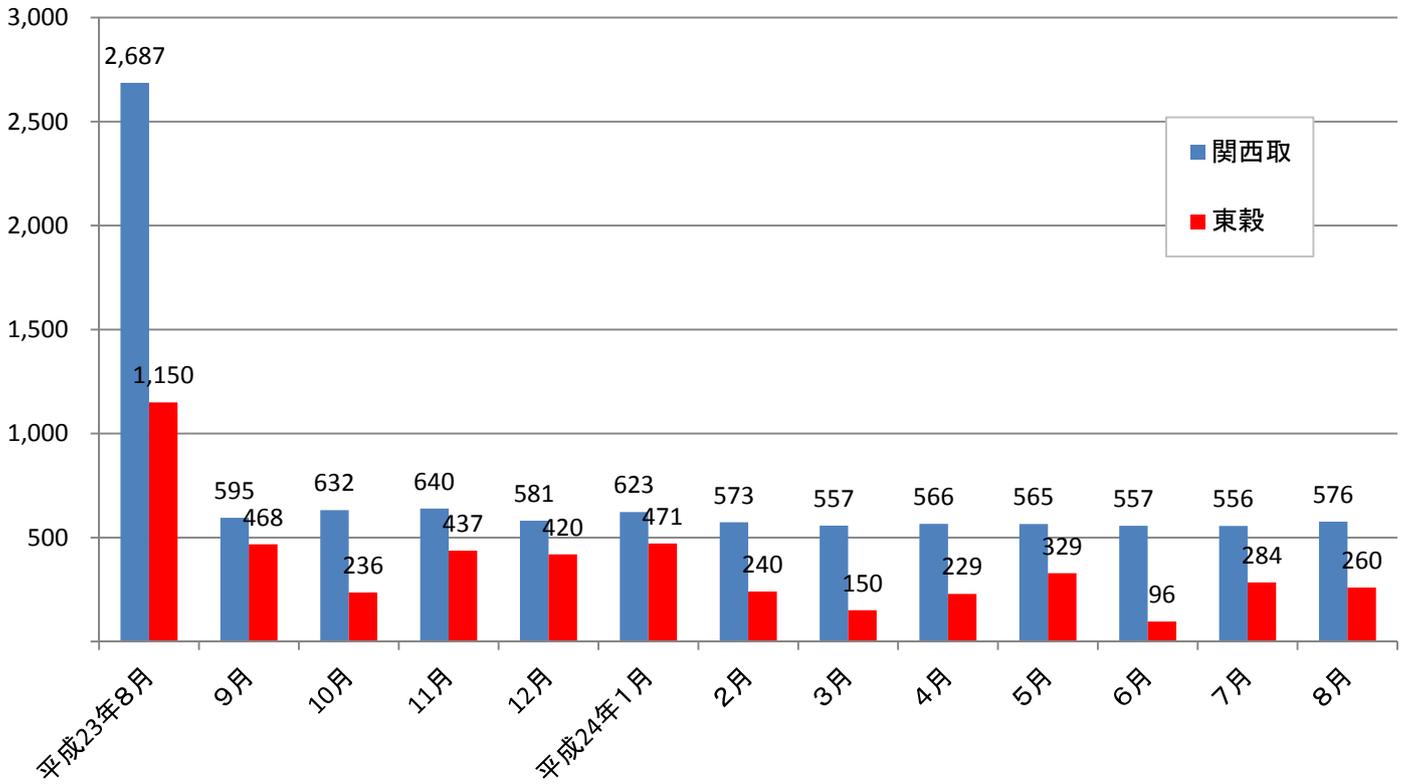
(参考)

標準品：東京穀物商品取引所は、茨城、栃木及び千葉のコシヒカリを標準品として取引を実施。関西商品取引所は、石川及び福井のコシヒカリを標準品として取引を実施（東京穀物商品取引所・関西商品取引所ともに玄米1等合格品。）

限月：両取引所ともに、受渡月の異なる6限月（例えば、12月に決済期限が到来するものを12月限といい、1の限月と数える。）の米穀を取引。最長6ヶ月先（平成24年8月31日現在では、9月限、10月限、11月限、12月限、1月限、2月限が上場。）の限月の米穀を取引。

② 1日の平均出来高(市場における注文成立数)の推移【平成23年8月～平成24年8月】

(単位:枚)



注:取引枚数1枚は、東京穀物商品取引所では6トン(玄米)、関西商品取引所では3トン(玄米)。

③ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

ア 東京穀物商品取引所

【平成23年8月8日～平成24年8月31日(266営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	94,916	357	6,765	0
とうもろこし	816,922	3,071	12,738	693
一般大豆	789,567	2,968	14,641	804
小豆	112,118	421	1,839	55
アラビカコーヒー	5,938	22	239	0
粗糖	32,768	123	1,584	4

【6月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	2,016	96	289	19
とうもろこし	62,367	2,970	6,509	985
一般大豆	68,178	3,247	7,041	1,202
小豆	10,248	488	1,497	55
アラビカコーヒー	192	9	51	0
粗糖	1,116	53	150	19

【7月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	5,969	284	767	32
とうもろこし	160,143	7,626	12,738	4,198
一般大豆	159,827	7,611	14,641	3,794
小豆	5,039	240	574	78
アラビカコーヒー	52	2	13	0
粗糖	1,811	86	301	21

【8月(23営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	5,970	260	408	206
とうもろこし	140,807	6,122	11,423	3,120
一般大豆	75,380	3,277	5,696	1,749
小豆	3,244	141	312	61
アラビカコーヒー	122	5	69	0
粗糖	838	36	82	9

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成24年8月31日までの期間及び平成24年6月～平成24年8月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

## イ 関西商品取引所

【平成23年8月8日～平成24年8月31日(266営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	193,291	727	11,289	254
とうもろこし	54,586	205	304	99
米国産大豆	3,173	12	12	6
小豆	7,586	29	374	6
粗糖	3,174	12	12	6
冷凍えび	3,167	12	12	6
国際穀物等指数	3,174	12	12	6

【6月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,698	557	1,617	498
とうもろこし	4,281	204	204	201
米国産大豆	251	12	12	11
小豆	376	18	18	16
粗糖	252	12	12	12
冷凍えび	251	12	12	11
国際穀物等指数	252	12	12	12

【7月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,668	556	1,611	484
とうもろこし	4,306	205	226	204
米国産大豆	252	12	12	12
小豆	732	35	374	16
粗糖	251	12	12	11
冷凍えび	251	12	12	11
国際穀物等指数	251	12	12	11

【8月(23営業日)】

(単位:枚)

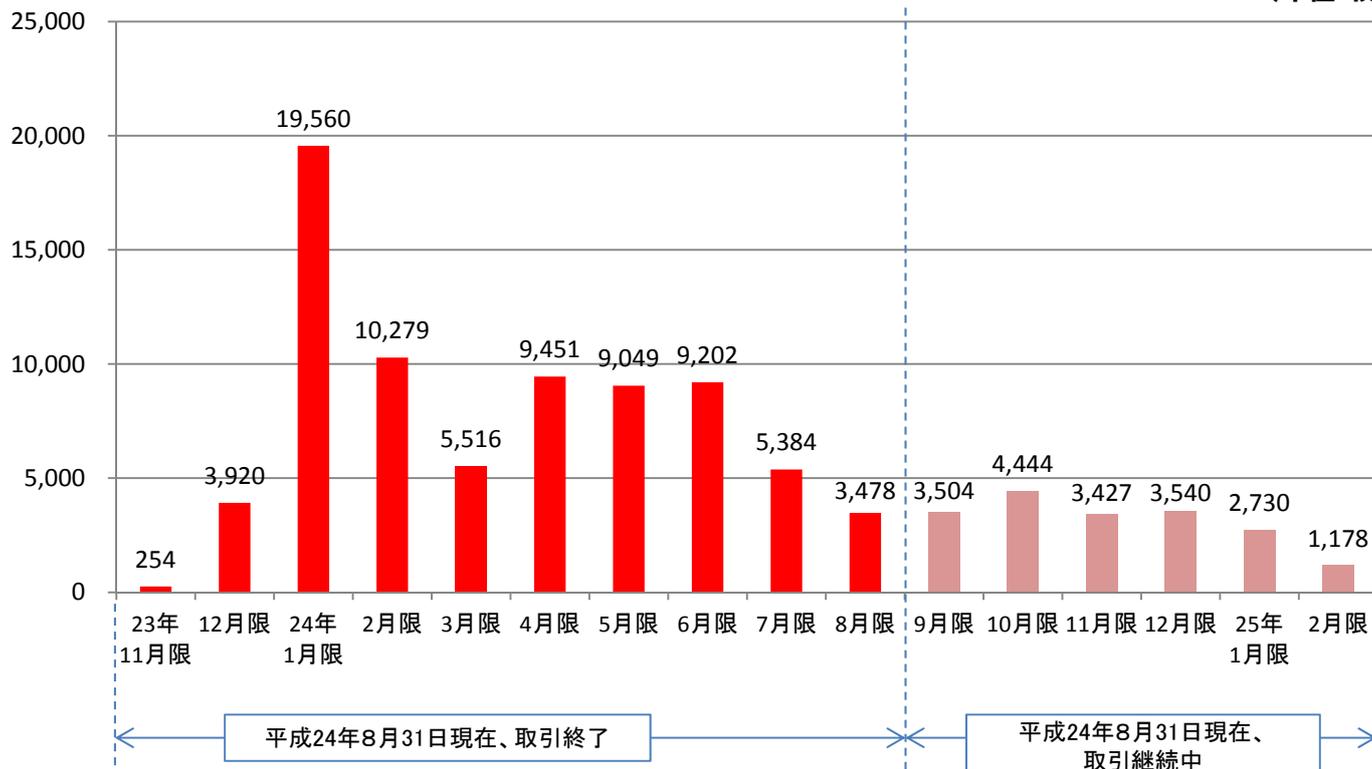
	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	13,258	576	846	490
とうもろこし	4,689	204	204	201
米国産大豆	275	12	12	11
小豆	412	18	18	16
粗糖	276	12	12	12
冷凍えび	275	12	12	11
国際穀物等指数	276	12	12	12

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成24年8月31日までの期間及び平成24年6月～平成24年8月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

④ 限月別の出来高状況(各限月の発会日～平成24年8月31日までの累積値)

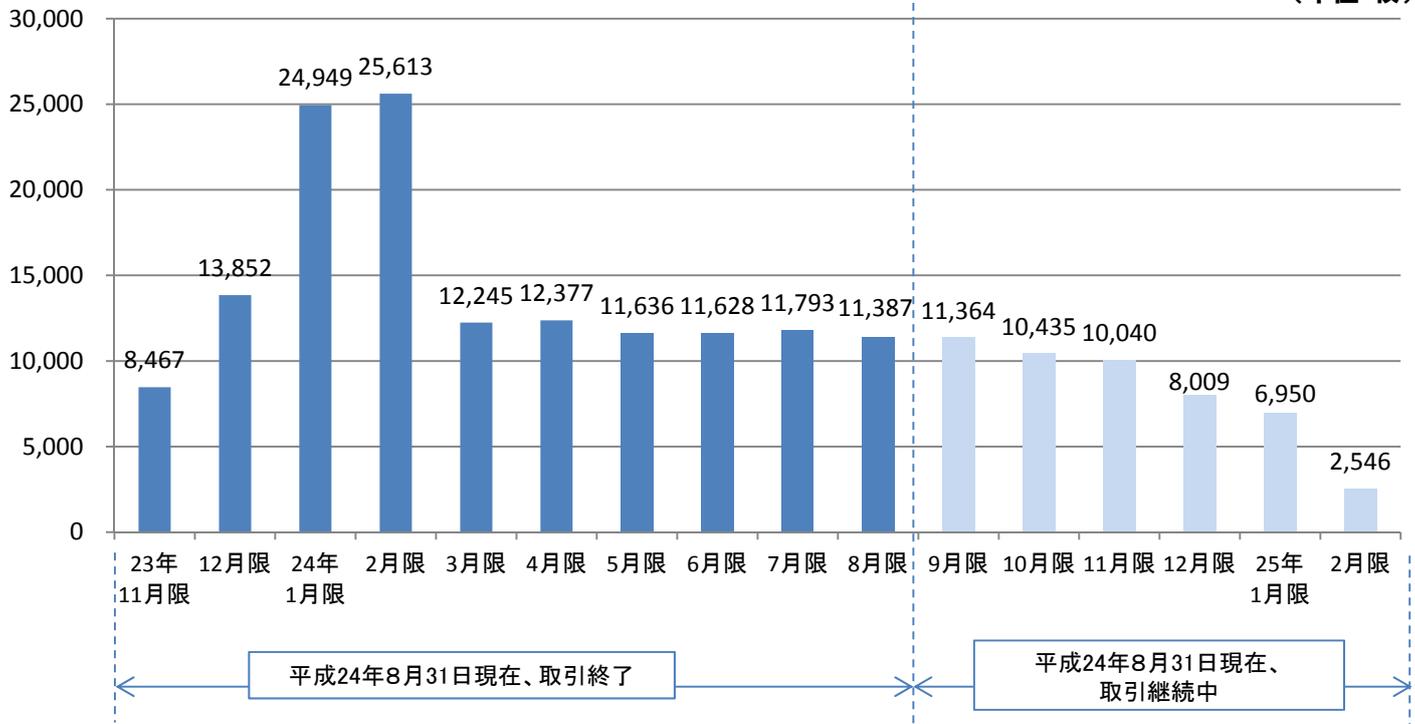
ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)



イ 関西商品取引所

(単位:枚)

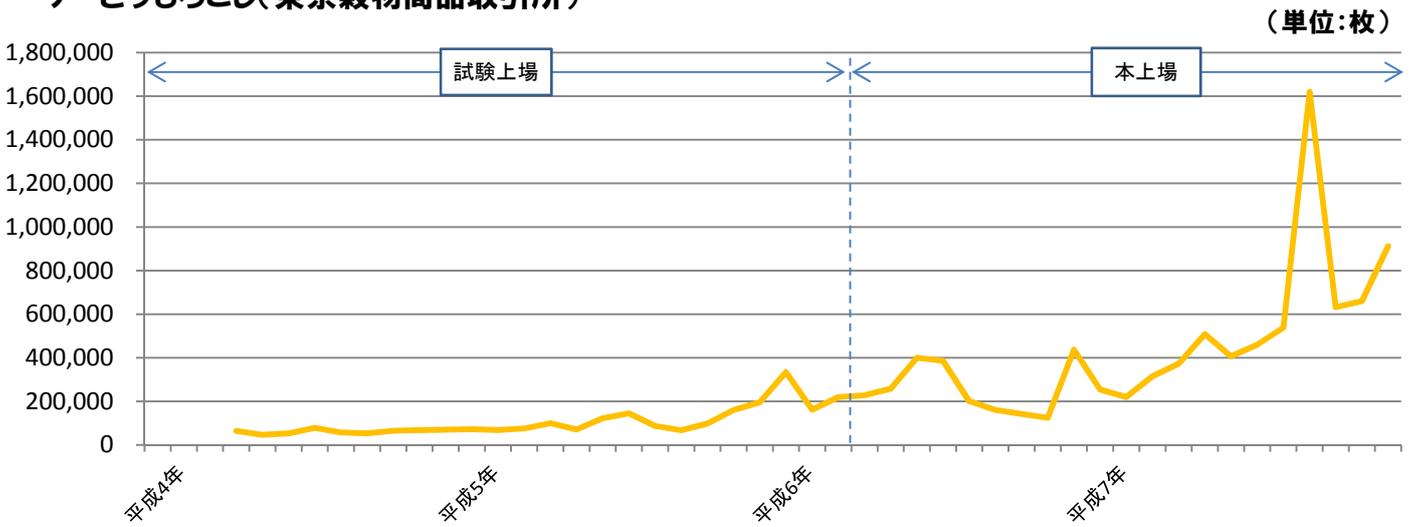


注1:平成24年9月限～平成25年2月限については、平成24年8月31日現在、取引中であるため、各限月の発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は毎月11日(休業日の場合は繰り下げ。))から平成24年8月31日までの各限月の出来高の累積値を表しており、各限月で実際に取引された日数が異なる。

注2:平成23年11月限～平成24年8月限については、すでに取引が終了しているため、各限月の発会日から納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))までの出来高の累積値。

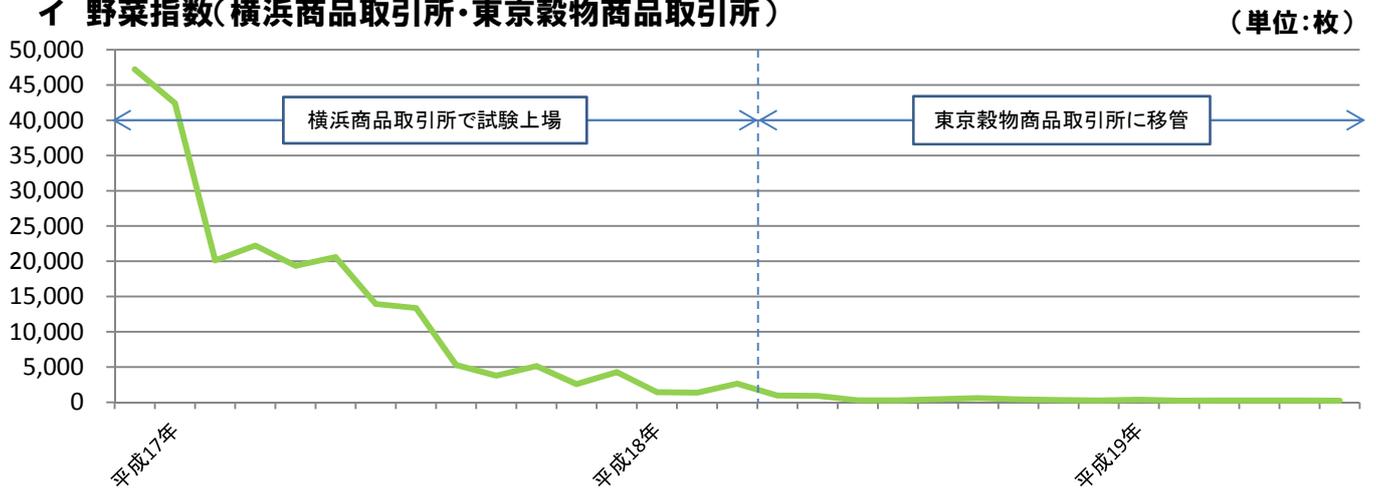
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

ア どうもろこし(東京穀物商品取引所)



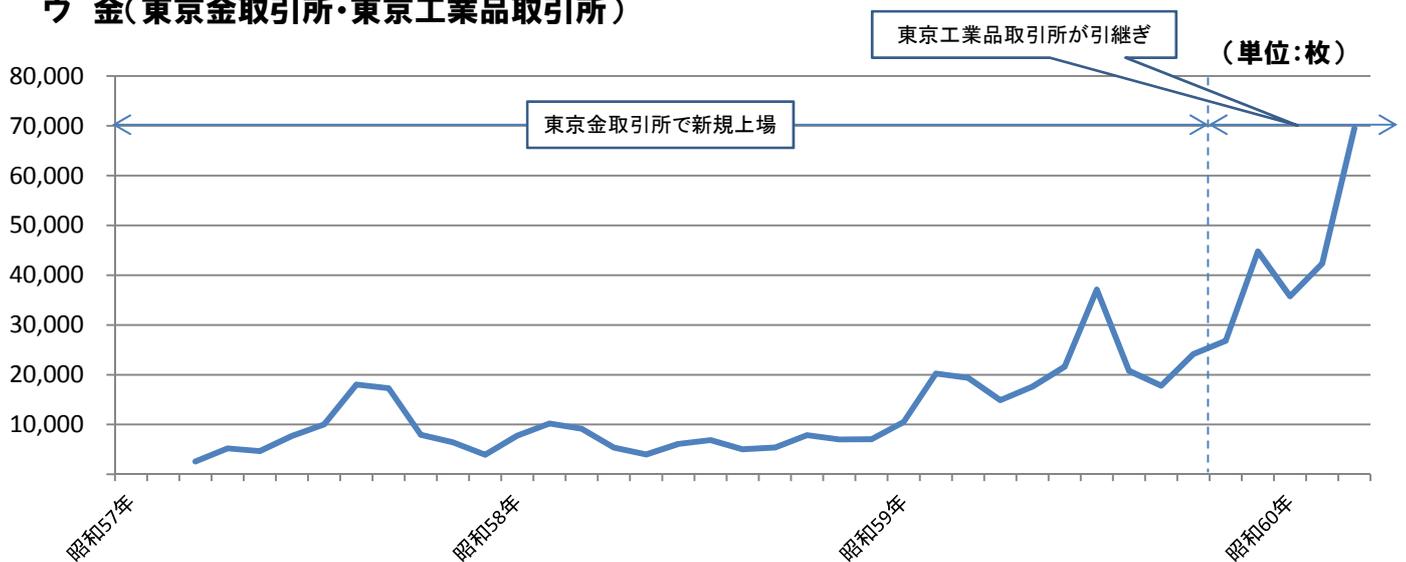
注:平成4年4月に試験上場し、平成6年4月に本上場。

イ 野菜指数(横浜商品取引所・東京穀物商品取引所)



注:平成16年12月に横浜商品取引所で試験上場し、平成18年4月に東京穀物商品取引所に移管。

ウ 金(東京金取引所・東京工業品取引所)



注:昭和57年3月に東京金取引所で新規上場し、昭和59年11月に東京繊維商品取引所・東京ゴム取引所・東京金取引所の統合により設立された東京工業品取引所に引き継がれている。

資料: 社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

⑤ 海外からの取引参加状況(東京穀物商品取引所)

(単位:枚)

		米国	シンガポール	合計
平成23年8月	売	86	128	214
	買	39	128	167
9月	売	51	0	51
	買	44	0	44
10月	売	0	0	0
	買	37	0	37
11月	売	0	0	0
	買	11	0	11
12月	売	0	0	0
	買	6	0	6
平成24年1月	売	0	0	0
	買	0	0	0
2月	売	0	0	0
	買	0	0	0
3月	売	0	0	0
	買	1	0	1
4月	売	0	0	0
	買	0	0	0
5月	売	0	0	0
	買	0	0	0
6月	売	0	0	0
	買	0	0	0
7月	売	0	0	0
	買	0	0	0

注1:東京穀物商品取引所において取引を行っている海外の商品先物取引業者(外国において商品先物取引法第190条第1項の規定による許可に相当する許可を受けている者又はこれに準ずる者)のうち、取引所において把握している者の出来高である。

注2:関西商品取引所においては、平成24年8月31日現在、海外の商品先物取引業者のうち、取引所において把握している者の取引実績はない。

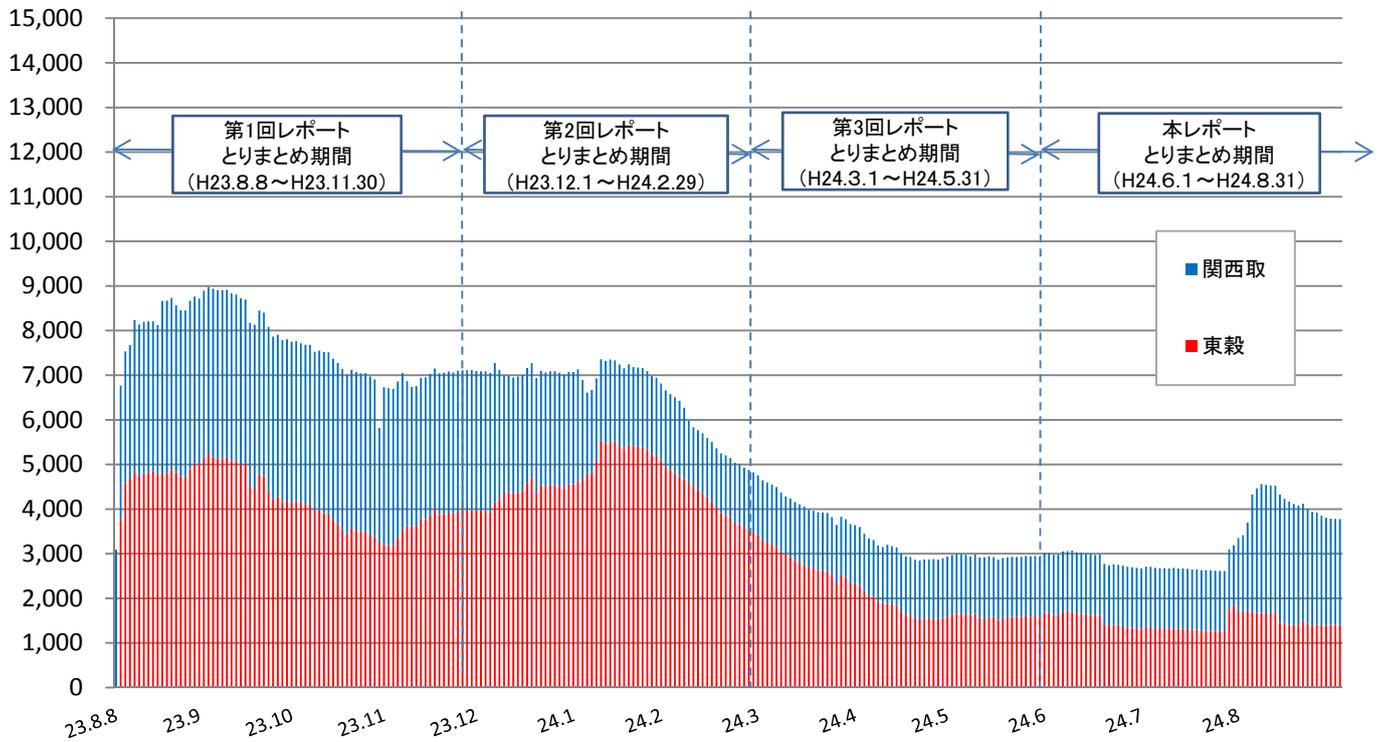
### (3) 取組高、取引参加者の動向

取組高：商品市場で成立した注文のうち、まだ、決済されず、市場に残っている売買契約数量(売り・買いセットで1枚とカウント)。

#### ①-1 取組高(東穀、関西取合計)の推移

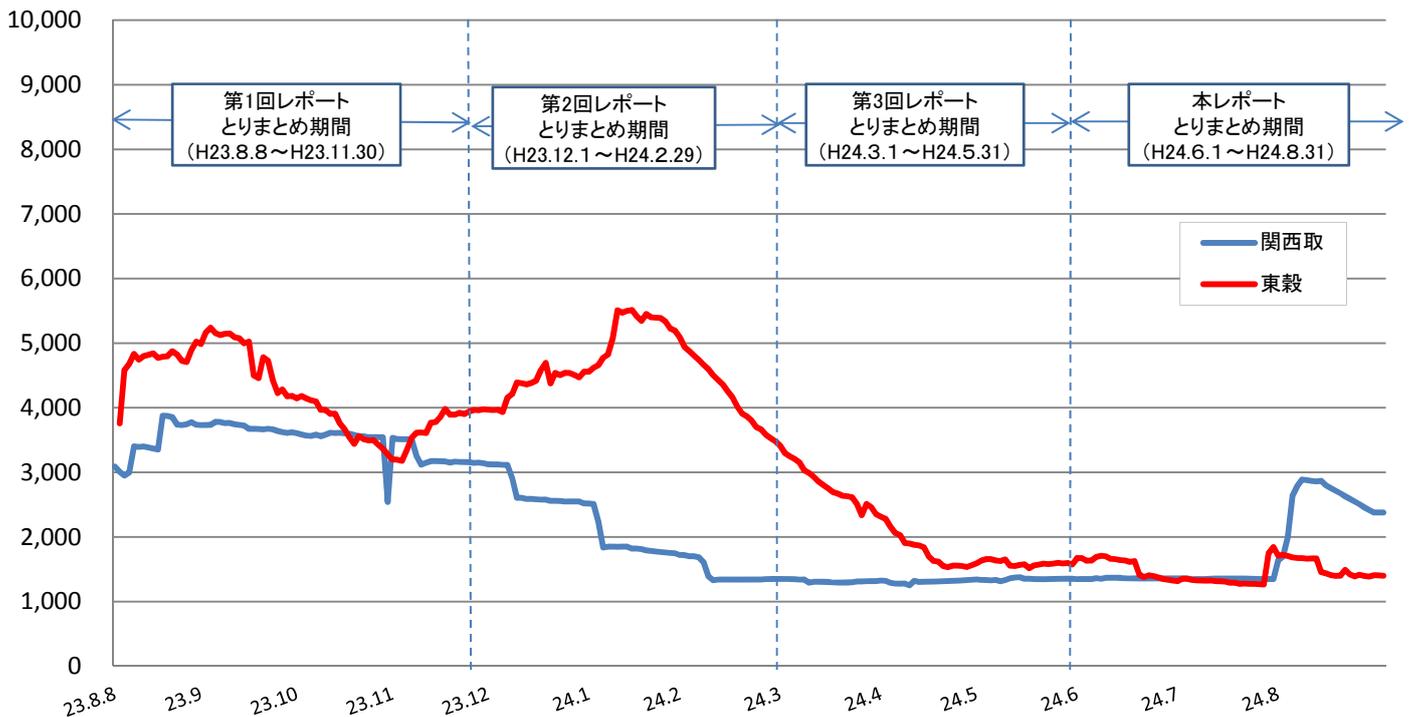
【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:枚)



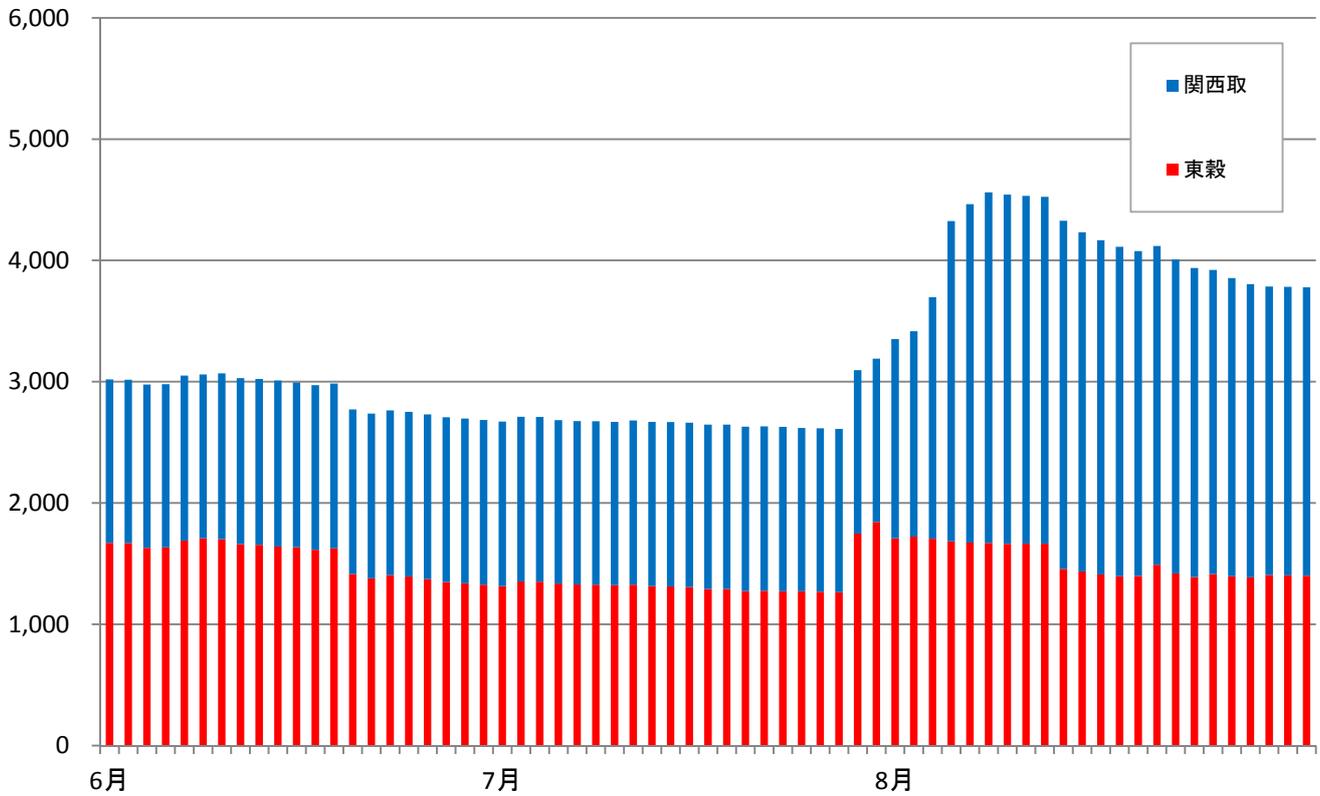
#### ②-1 取引所別の取組高の推移【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:枚)



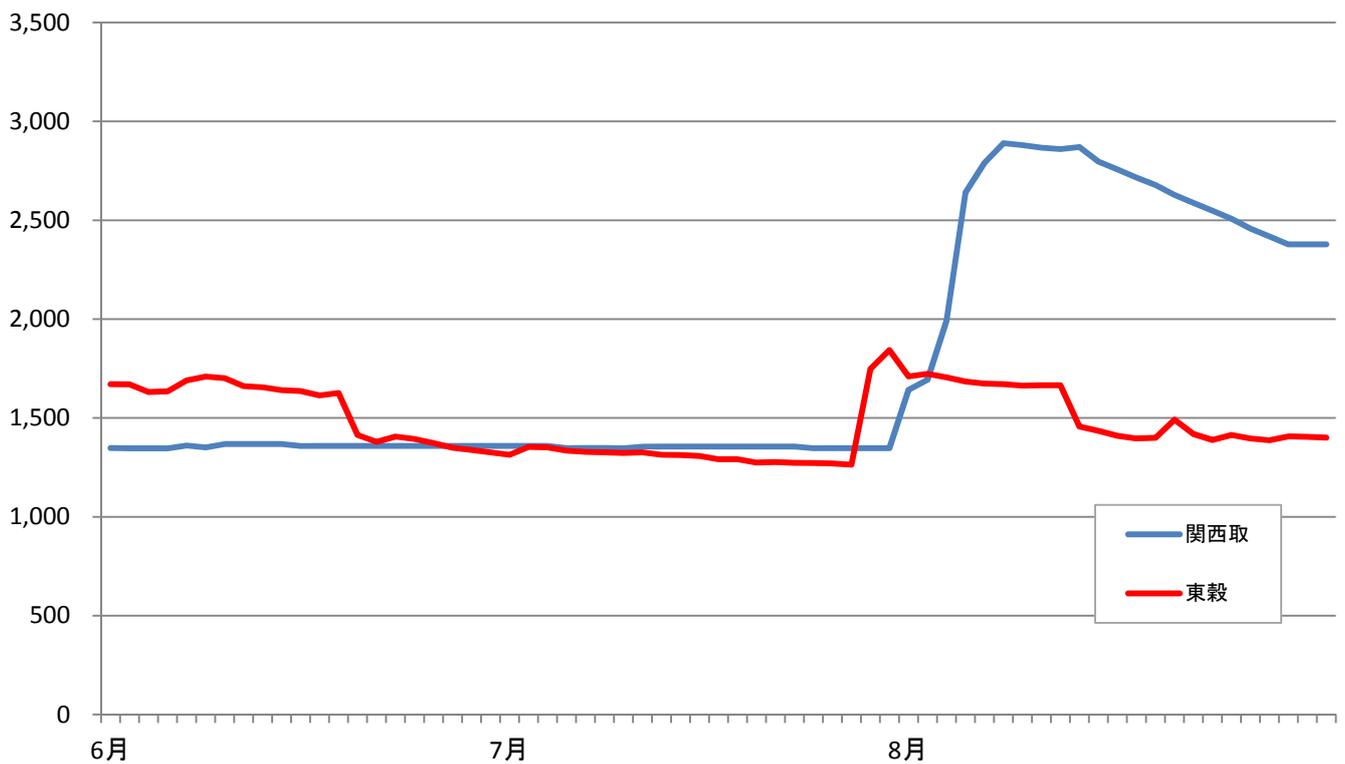
①-2 取組高(東穀、関西取合計)の推移【平成24年6月1日～8月31日】

(単位:枚)



②-2 取引所別の取組高の推移【平成24年6月1日～8月31日】

(単位:枚)



### ③ 限月別の取組高の状況

#### ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	合計
平成23年 8月31日現在	78	792	2,358	1,797	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,025
9月30日現在	76	515	1,298	1,340	956	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,185
10月31日現在	51	393	904	582	845	503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,278
11月30日現在	-	348	807	457	544	1,321	500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,977
12月30日現在	-	-	345	351	516	1,213	1,489	642	-	-	-	-	-	-	-	-	4,556
平成24年 1月31日現在	-	-	-	255	457	1,058	1,120	1,544	761	-	-	-	-	-	-	-	5,195
2月29日現在	-	-	-	-	295	480	697	1,259	450	298	-	-	-	-	-	-	3,479
3月30日現在	-	-	-	-	-	306	488	821	224	351	162	-	-	-	-	-	2,352
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	193	528	178	332	199	131	-	-	-	-	1,561
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	331	166	147	223	517	191	-	-	-	1,575
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	109	94	159	331	315	318	-	-	1,326
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	106	293	227	668	486	-	1,843
8月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	122	65	514	482	152	1,400

#### イ 関西商品取引所

(単位:枚)

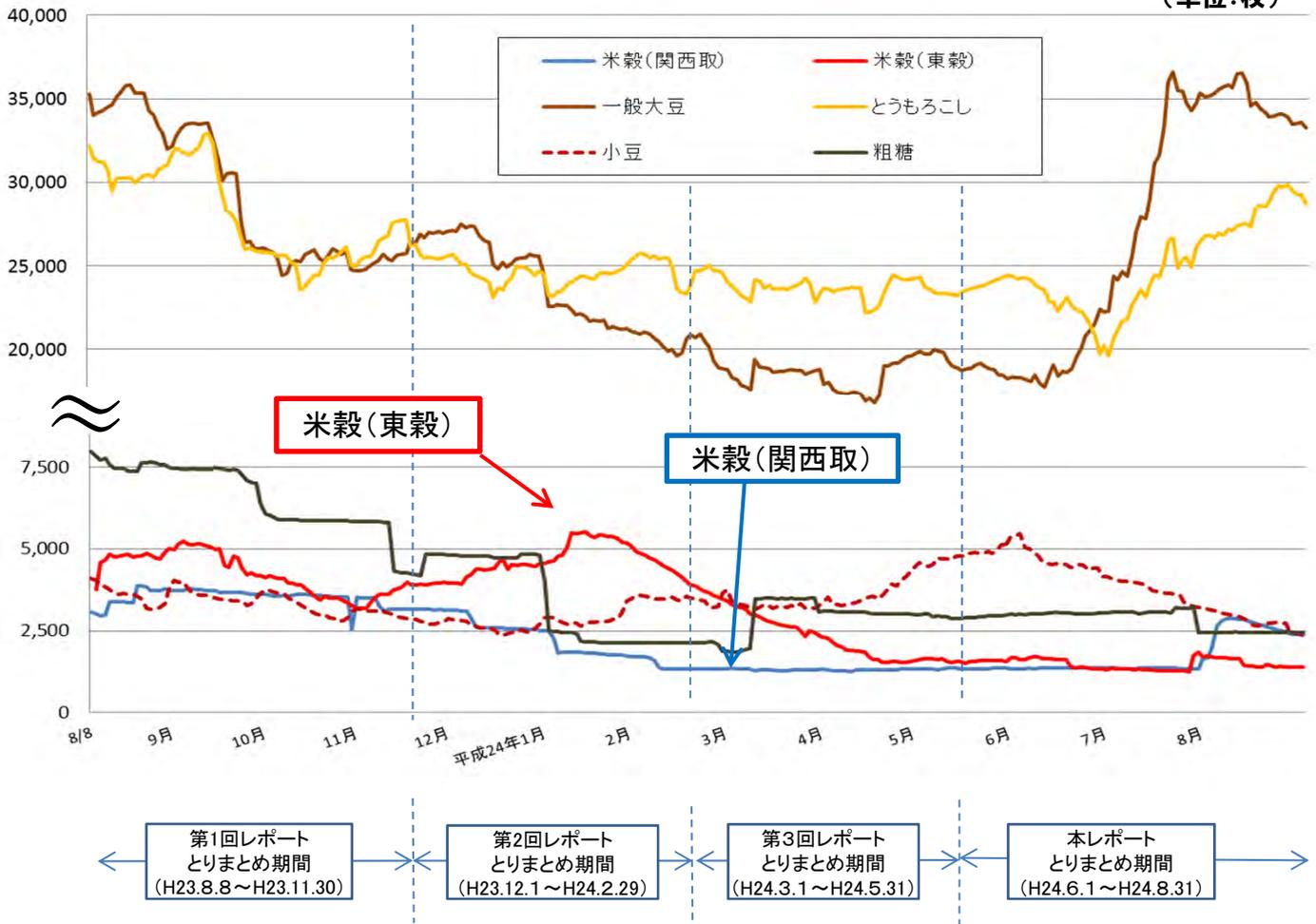
	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	合計
平成23年 8月31日現在	421	502	806	2,009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,738
9月30日現在	381	502	729	1,378	630	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,620
10月31日現在	385	500	682	724	139	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,540
11月30日現在	-	499	632	695	86	615	615	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,142
12月30日現在	-	-	597	604	75	65	591	586	-	-	-	-	-	-	-	-	2,518
平成24年 1月31日現在	-	-	-	407	74	64	41	600	562	-	-	-	-	-	-	-	1,748
2月29日現在	-	-	-	-	59	63	40	50	562	572	-	-	-	-	-	-	1,346
3月30日現在	-	-	-	-	-	57	50	50	12	584	561	-	-	-	-	-	1,314
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	41	46	14	24	570	643	-	-	-	-	1,338
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	25	12	23	18	691	584	-	-	-	1,353
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	12	20	18	141	600	567	-	-	1,358
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	18	141	42	566	560	-	1,347
8月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	141	41	316	1,060	810	2,378

注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。

#### ④ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移

【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:枚)



#### (参考)

建玉制限：取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

#### 【東京穀物商品取引所】

- 1 番限 300枚（7月限、8月限及び9月限の場合100枚）
- 2 番限 500枚
- 3 番限 1,000枚
- 4 番限以降 2,000枚

#### 【関西商品取引所】

- 1 番限 100枚
- 2 番限 350枚
- 3 番限 500枚
- 4 番限 1,500枚
- 5 番限以降 2,000枚

※ 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

※ 1 番限とは、最も早く決済期限が到来するものであり、1 番限から決済期限がより先のものに向かって2 番限、3 番限と数える。平成24年8月31日現在、米穀の場合は、1 番限が9月限、2 番限が10月限、3 番限が11月限、4 番限が12月限、5 番限が1月限、6 番限が2月限。

#### (4) 現物受渡しの状況【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

米先物取引の試験上場においては、実際に米穀を受け渡すことにより、取引を決済することが可能。平成23年8月8日から平成24年8月31日までの受渡し状況は以下のとおり。

##### ① 限月別の現物受渡しの状況

##### ア 東京穀物商品取引所

限月	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(60トン)	
12月限	はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	早受渡し
	コシヒカリ(福島県中通り産)	112枚(672トン)	
平成24年1月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	30枚(180トン)	うち、24枚(144トン)は早受渡し
2月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	20枚(120トン)	うち、14枚(84トン)は早受渡し
3月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	32枚(192トン)	早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(108トン)	
4月限	コシヒカリ(福島県会津産)	26枚(156トン)	うち、8枚(48トン)は早受渡し
5月限	コシヒカリ(福島県会津産)	6枚(36トン)	
6月限	コシヒカリ(福島県浜通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	48枚(288トン)	うち、22枚(132トン)は早受渡し
	コシヒカリ(新潟県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
7月限	コシヒカリ(福島県会津産)	28枚(168トン)	早受渡し
	コシヒカリ(新潟県産)	12枚(72トン)	
	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(12トン)	
8月限	コシヒカリ(新潟県産)	14枚(84トン)	
平成23年8月8日以降の累積値		386枚(2316トン)	うち、144枚(864トン)は早受渡し 又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、東京穀物商品取引所では6トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

注4:特に記載のない限り1等。

## イ 関西商品取引所

限月	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	コシヒカリ(埼玉県産)	10枚(30トン)	
	コシヒカリ(福島県会津産)	4枚(12トン)	
12月限	コシヒカリ(福島県会津産)	5枚(15トン)	
平成24年1月限	コシヒカリ(福島県会津産)	39枚(117トン)	
	コシヒカリ(福島県中通り産)	17枚(51トン)	
2月限	コシヒカリ(福島県会津産)	52枚(156トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県中通り産)	90枚(270トン)	うち、83枚(249トン)は早受渡し
3月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	12枚(36トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(54トン)	
4月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	9枚(27トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	20枚(60トン)	
5月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	1枚(3トン)	
	コシヒカリ(福島県会津産)	8枚(24トン)	
	コシヒカリ(埼玉県産)	1枚(3トン)	
6月限	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(30トン)	
7月限	コシヒカリ(福島県会津産)	2枚(6トン)	
8月限	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(12トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(6トン)	うち、1枚(3トン)は早受渡し
平成23年8月8日以降の累積値		304枚(912トン)	うち、96枚(288トン)は早受渡し

注1:取引枚数1枚は、関西商品取引所では3トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:特に記載のない限り1等。

## ② 産地品種銘柄の割合

### ア 東京穀物商品取引所

銘柄	取引枚数(玄米重量)	割合
コシヒカリ(福島県産)	332枚(1,992トン)	86%
コシヒカリ(新潟県産)	36枚(216トン)	9%
はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	3%
コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	2%
平成23年8月8日以降の累積値	386枚(2316トン)	100%

### イ 関西商品取引所

銘柄	取引枚数(玄米重量)	割合
コシヒカリ(福島県産)	287枚(861トン)	94%
コシヒカリ(埼玉県産)	11枚(33トン)	4%
コシヒカリ(新潟県産)	6枚(18トン)	2%
平成23年8月8日以降の累積値	304枚(912トン)	100%

#### (参考)

受渡供用品：現物の受渡しは、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき標準品（東穀は、茨城、栃木及び千葉コシヒカリ、関西取は、石川及び福井コシヒカリ）に対して増額又は減額した価格で受渡しが可能（平成24年8月31日現在）。

東京穀物商品取引所：

コシヒカリ（福島（会津・中通り・浜通り）、新潟、富山、石川、福井、長野、茨城、栃木、千葉、その他府県産）※その他府県産は、平成24年10月限以降に適用。

ひとめぼれ（岩手、宮城）、あきたこまち（秋田）、はえぬき（山形）、きらら397・ななつぼし（北海道）、つがるロマン・まっしぐら（青森）

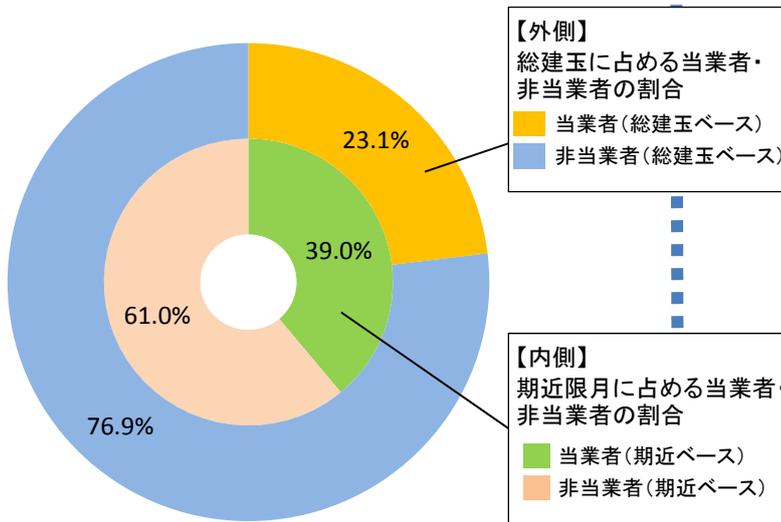
関西商品取引所：コシヒカリ（全国）

## (5) 取引参加者の構成

### ① 当業者・非当業者の割合

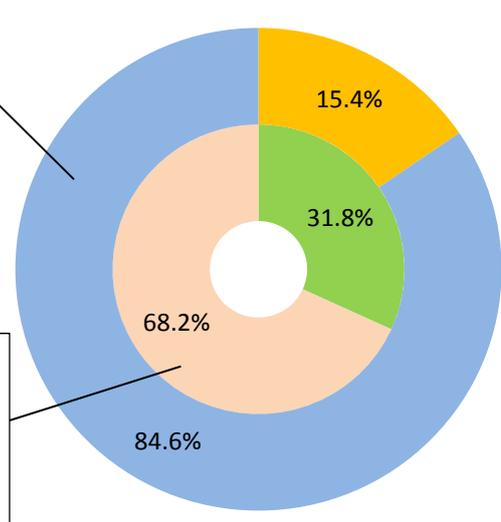
#### ア 東京穀物商品取引所

各月末平均値



#### イ 関西商品取引所

各月末平均値



		東京穀物商品取引所		関西商品取引所	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末平均値	総建玉に占める割合	23.1%	76.9%	15.4%	84.6%
	期近限月に占める割合	39.0%	61.0%	31.8%	68.2%
平成24年6月末	総建玉に占める割合	22.4%	77.6%	8.9%	91.1%
	期近限月に占める割合	52.3%	47.7%	16.7%	83.3%
7月末	総建玉に占める割合	45.0%	55.0%	8.5%	91.5%
	期近限月に占める割合	55.6%	44.4%	12.5%	87.5%
8月末	総建玉に占める割合	60.4%	39.6%	4.7%	95.3%
	期近限月に占める割合	67.7%	32.3%	0.0%	100.0%

注1: 東京穀物商品取引所及び関西商品取引所において把握している当業者・非当業者の割合を表している。

注2: 総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

注3: 当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

② 建玉報告対象者の割合

建玉報告対象者：米穀の先物市場においては、21枚以上（東穀は玄米重量で126トン、関西取は玄米重量で63トン）の建玉を有する者。

ア 東京穀物商品取引所(平成24年8月31日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	1,400	100.0%	1,400	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	1,284	91.7%	1,200	85.7%

イ 関西商品取引所(平成24年8月31日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	2,378	100.0%	2,378	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	2,281	95.9%	2,234	93.9%

(参考) 他の上場商品の建玉報告対象者の割合(東京穀物商品取引所)(平成24年8月31日現在)

(単位:枚)

		売		買	
		枚数	割合	枚数	割合
とうもろこし	全取引参加者の総建玉数	28,723	100.0%	28,723	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	19,711	68.6%	19,157	66.7%
一般大豆	全取引参加者の総建玉数	33,246	100.0%	33,246	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	26,278	79.0%	23,718	71.3%

注：商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は、それぞれの商品先物市場において一定の建玉(両取引所とも米穀については21枚以上、東穀のとうもろこし及び一般大豆については51枚以上)を有する者の建玉の状況等を、毎日、主務大臣に報告することとされている。

## **2. 関連情報**

# (1) 米の取引価格及び数量

## ① 相対取引価格・数量

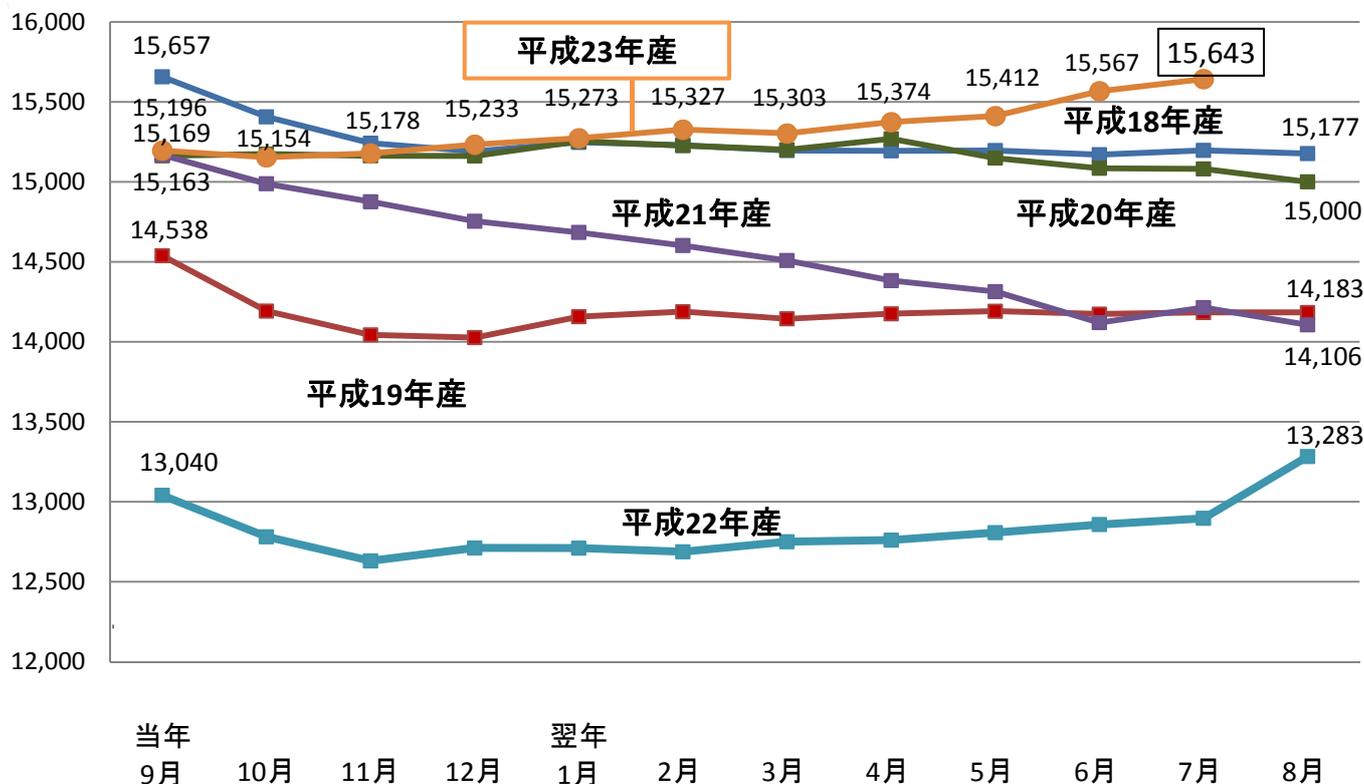
### ア 相対取引価格(平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年7月)(速報)

産地	品種銘柄 (地域区分)	24年7月 ①	【参考】				
			24年6月 ②	対前月比 ①/②	23年7月 (22年産) ③	対前年 同期比 ①/③	
北海道	北海道 きらら397	—	—	—	—	—	
	北海道 ななつぼし	—	—	—	—	—	
東北	青森 つがるロマン	—	—	—	—	—	
	青森 まっしぐら	13,790	13,650	(101%)	10,460	(132%)	
	岩手 ひとめぼれ	14,629	14,688	(100%)	12,111	(121%)	
	岩手 あきたこまち	—	—	—	—	—	
	宮城 ひとめぼれ	—	14,784	—	11,840	—	
	宮城 ササニシキ	—	—	—	—	—	
	秋田 あきたこまち	15,423	15,312	(101%)	12,693	(122%)	
	山形 はえぬき	14,416	14,398	(100%)	11,685	(123%)	
	福島 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	福島 コシヒカリ	13,865	14,323	(97%)	—	—	
関東・東山	茨城 コシヒカリ	15,700	15,637	(100%)	—	—	
	栃木 コシヒカリ	15,405	15,281	(101%)	12,315	(125%)	
	埼玉 彩のかがやき	—	—	—	—	—	
	千葉 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	長野 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	北陸	新潟 コシヒカリ	—	18,789	—	—	—
		新潟 コシヒカリ	—	—	—	—	—
		新潟 コシヒカリ	—	—	—	—	—
		新潟 コシヒカリ	—	—	—	—	—
		富山 コシヒカリ	—	15,966	—	—	—
石川 コシヒカリ		—	16,343	—	—	—	
東海・近畿	福井 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	福井 ハナエチゼン	—	—	—	—	—	
	三重 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	滋賀 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	滋賀 キヌヒカリ	—	—	—	—	—	
	兵庫 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	中国・四国	鳥取 コシヒカリ	—	—	—	—	—
		鳥根 コシヒカリ	—	15,525	—	—	—
		広島 コシヒカリ	—	—	—	—	—
		山口 コシヒカリ	—	—	—	—	—
徳島 コシヒカリ		—	—	—	—	—	
香川 ヒノヒカリ		14,916	14,895	(100%)	11,571	(129%)	
高知 コシヒカリ		—	—	—	—	—	
福岡 ヒノヒカリ		—	14,661	—	12,332	—	
九州	佐賀 夢しずく	14,567	14,638	(100%)	—	—	
	熊本 ヒノヒカリ	15,134	15,022	(101%)	—	—	
	大分 ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	
	宮崎 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	鹿児島 ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	
全銘柄平均価格		15,643	15,567	(100%)	12,896	(121%)	

- 注1:相対取引価格は、運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格(なお、米穀の先物取引の価格は、取引所が指定する倉庫の置き場渡し、包装代込み、消費税相当額抜きの1等米の価格)。
- 注2:相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。
- 注3:相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。
- 注4:産地銘柄は、ア. 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ. ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。
- 注5:全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。
- 資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

## イ 相対取引価格の推移(年産別全銘柄平均価格)

(単位：円/玄米60kg)



注1：相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

注2：相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

注3：全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

**ウ 23年産米相対取引基準価格(全農)の推移  
(全農公表資料をもとに農林水産省において算出)**

期間	相対取引基準価格(全農)	相対取引価格 (農林水産省)	期間	相対取引基準価格(全農)	相対取引価格 (農林水産省)
23年 8/8~	15,912 (1)	非公表	2/6~	16,009 (57)	15,327 (107)
8/15~	15,408 (2)		2/13~	16,009 (57)	
8/22~	15,584 (5)		2/20~	16,009 (57)	
8/29~	16,120 (11)		2/27~	16,009 (57)	
9/5~	16,006 (19)	15,196 (84)	3/5~	16,009 (57)	15,303 (107)
9/12~	16,848 (29)		3/12~	16,009 (57)	
9/20~	16,638 (32)		3/19~	16,009 (57)	
9/26~	16,101 (43)		3/26~	16,009 (57)	
10/3~	15,887 (56)	15,154 (108)	4/2~	16,009 (57)	15,374 (101)
10/11~	15,887 (56)		4/9~	16,009 (57)	
10/17~	15,888 (56)		4/16~	16,009 (57)	
10/24~	15,884 (57)		4/23~	16,009 (57)	
10/31~	15,884 (57)	15,178 (106)	5/7~	16,009 (57)	15,412 (98)
11/7~	16,032 (57)		5/14~	16,009 (57)	
11/14~	16,032 (57)		5/21~	16,009 (57)	
11/21~	16,032 (57)		5/28~	16,009 (57)	
11/28~	16,032 (57)	15,233 (107)	6/4~	16,009 (57)	15,567 (102)
12/5~	16,032 (57)		6/11~	16,009 (57)	
12/12~	16,032 (57)		6/18~	16,009 (57)	
12/19~	16,032 (57)		6/25~	16,009 (57)	
12/26~	16,032 (57)	15,273 (107)	7/2~	16,009 (57)	15,643 (98)
24年 1/10~	16,032 (57)		7/9~	16,009 (57)	
1/16~	16,065 (57)		7/17~	16,009 (57)	
1/23~	16,065 (57)		7/23~	16,009 (57)	
1/30~	16,009 (57)		7/30~	16,009 (57)	

注1:相対取引基準価格(全農)は、全農が公表している全産地銘柄の相対取引基準価格を基に、農林水産省において、消費税及び包装代(154円/60kg)を加算し、前年産の検査数量ウェイトを用いて加重平均したものを。

注2:相対取引基準価格(全農)の欄の括弧内の数字は、全農が公表している相対取引基準価格の産地銘柄数。

注3:相対取引価格(農林水産省)の欄の括弧内の数字は、農林水産省が公表している相対取引価格の全銘柄平均価格の算出に用いた産地銘柄数。

出典:農林水産省「米に関するマンスリーレポート(平成24年9月7日公表)」

## エ 相対取引数量(累積数量、平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年7月)(速報)

産地	品種銘柄 (地域区分)	23年産 (24年7月まで)	(前年比)	(前々年比)	22年産 (23年7月まで)	21年産 (22年7月まで)
		①	①/②	①/③	②	③
北海道	北海道 きらら397	128,212	(119%)	(151%)	107,793	85,152
	北海道 ななつぼし	155,220	(117%)	(170%)	133,101	91,419
東北	青森 つがるロマン	41,058	(94%)	(73%)	43,463	56,597
	青森 まっしぐら	68,147	(152%)	(149%)	44,697	45,854
	岩手 ひとめぼれ	120,132	(112%)	(139%)	107,151	86,482
	岩手 あきたこまち	26,472	(100%)	(99%)	26,460	26,701
	宮城 ひとめぼれ	150,097	(101%)	(153%)	147,915	98,362
	宮城 ササニシキ	12,280	(98%)	(131%)	12,559	9,402
	秋田 あきたこまち	197,021	(99%)	(99%)	198,868	199,549
	山形 はえぬき	127,739	(105%)	(104%)	121,227	123,065
	福島 コシヒカリ 会津	34,387	(94%)	(94%)	36,545	36,550
	福島 コシヒカリ 中通り	41,922	(127%)	(94%)	32,937	44,624
	福島 コシヒカリ 浜通り	7,300	(43%)	(39%)	16,918	18,544
	福島 ひとめぼれ	34,158	(78%)	(69%)	43,692	49,646
関東・東山	茨城 コシヒカリ	57,628	(116%)	(106%)	49,860	54,203
	栃木 コシヒカリ	124,160	(103%)	(88%)	120,131	140,953
	埼玉 彩のかがやき	12,261	(456%)	(103%)	2,690	11,933
	千葉 コシヒカリ	38,715	(87%)	(85%)	44,260	45,340
	長野 コシヒカリ	55,247	(96%)	(94%)	57,735	58,692
	新潟 コシヒカリ 一般	130,960	(98%)	(89%)	133,348	147,488
	新潟 コシヒカリ 魚沼	27,627	(138%)	(135%)	20,063	20,462
	新潟 コシヒカリ 佐渡	18,329	(112%)	(101%)	16,397	18,158
	新潟 コシヒカリ 岩船	14,515	(106%)	(97%)	13,666	14,923
	富山 コシヒカリ	96,151	(97%)	(124%)	99,271	77,829
北陸	石川 コシヒカリ	27,805	(91%)	(108%)	30,517	25,757
	福井 コシヒカリ	24,922	(96%)	(88%)	26,058	28,292
	福井 ハナエチゼン	12,016	(49%)	(60%)	24,352	20,149
	三重 コシヒカリ 一般	15,478	(87%)	(92%)	17,800	16,815
	滋賀 コシヒカリ	25,477	(91%)	(97%)	28,025	26,299
	滋賀 キヌヒカリ	13,160	(91%)	(89%)	14,411	14,821
	兵庫 コシヒカリ	12,737	(85%)	(92%)	14,934	13,777
	鳥取 コシヒカリ	6,456	(60%)	(47%)	10,775	13,766
中国・四国	鳥根 コシヒカリ	22,728	(109%)	(98%)	20,852	23,113
	広島 コシヒカリ	16,644	(73%)	(78%)	22,930	21,429
	山口 コシヒカリ	15,015	(98%)	(88%)	15,356	17,148
	徳島 コシヒカリ	9,899	(94%)	(86%)	10,553	11,521
	香川 ヒノヒカリ	12,582	(86%)	(77%)	14,680	16,237
	高知 コシヒカリ	6,082	(85%)	(70%)	7,166	8,659
	福岡 ヒノヒカリ	22,566	(104%)	(83%)	21,752	27,333
	佐賀 夢しずく	11,575	(94%)	(88%)	12,273	13,199
	熊本 ヒノヒカリ	12,668	(182%)	(101%)	6,950	12,580
	大分 ヒノヒカリ	11,239	(114%)	(71%)	9,829	15,735
九州	宮崎 コシヒカリ	6,179	(81%)	(51%)	7,597	12,014
	鹿児島 ヒノヒカリ	7,270	(221%)	(92%)	3,284	7,869
	全銘柄合計契約数量	2,546,335	(104%)	(103%)	2,437,195	2,476,296

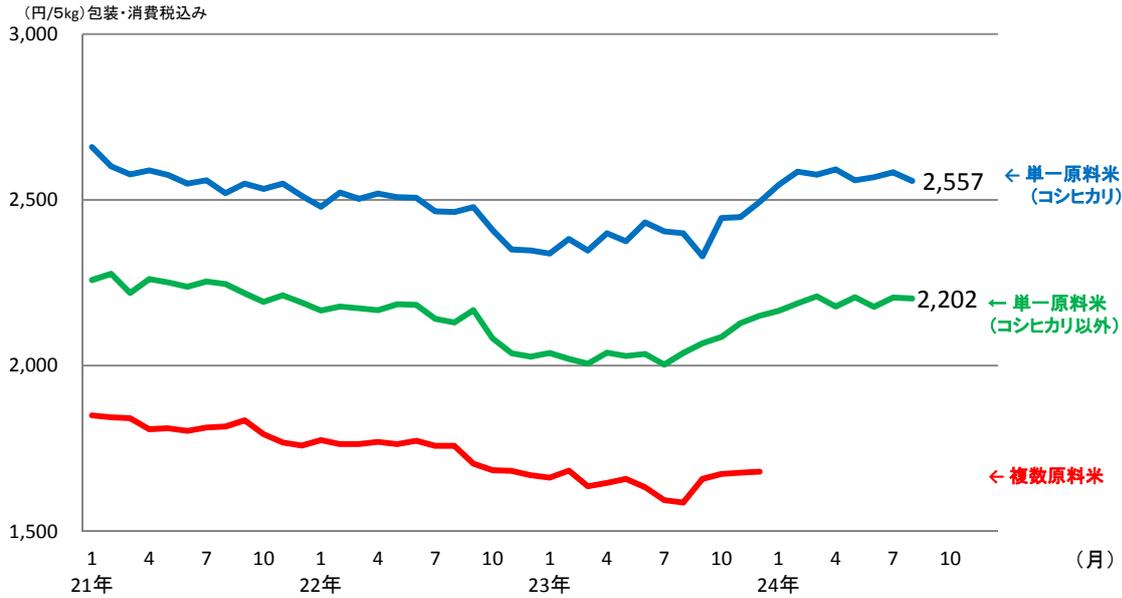
注1:相対取引数量は、ア. 全国団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)を行った数量である。なお、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

注2:産地銘柄は、ア. 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ. ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のもの。

注3:全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

## ② 小売物価統計による推移



(単位:円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米		
	単一原料米 (コシヒカリ)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年	2,462	2,136	1,739
平成23年	2,399	2,053	1,649
平成23年1月	2,338	2,038	1,662
2月	2,382	2,020	1,683
3月	2,347	2,006	1,636
4月	2,399	2,039	1,646
5月	2,375	2,029	1,658
6月	2,432	2,035	1,633
7月	2,405	2,003	1,594
8月	2,399	2,038	1,587
9月	2,330	2,067	1,658
10月	2,445	2,086	1,673
11月	2,448	2,128	1,677
12月	2,493	2,150	1,680
平成24年1月	2,545	2,165	-
2月	2,585	2,188	-
3月	2,576	2,209	-
4月	2,592	2,178	-
5月	2,559	2,206	-
6月	2,568	2,177	-
7月	2,583	2,205	-
8月	2,557	2,202	-

注1:東京都区部の数値である。

注2:特売を除いた価格である。

注3:精米ベースである。

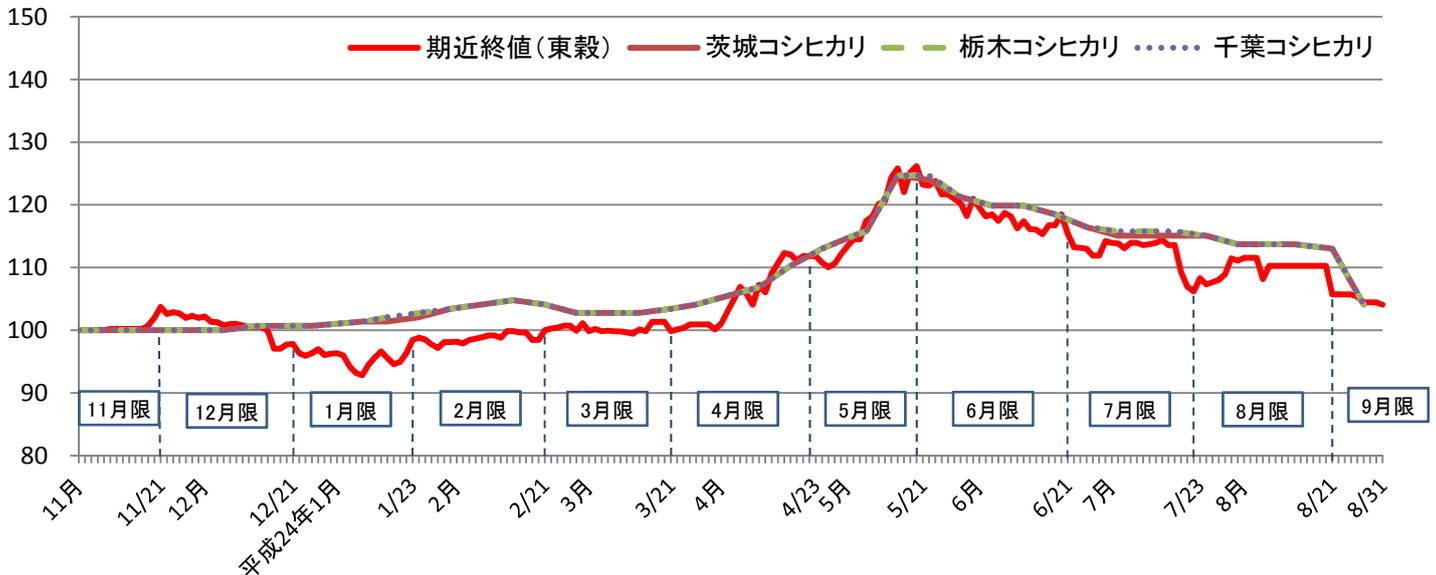
注4:複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

資料:総務省「小売物価統計」

## (2) 期近限月の終値と自由米価格(スポット価格)の値動き

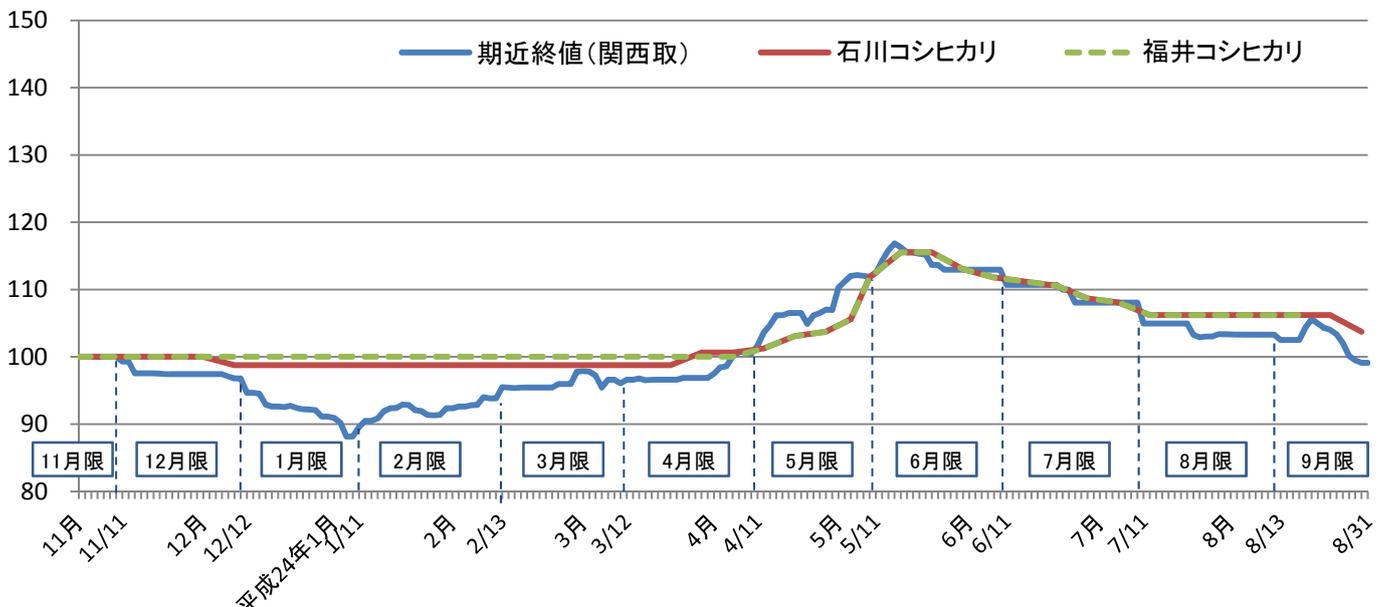
### ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期近限月)

※期近限月の終値は、平成23年11月1日の終値を100として指数化したもの。  
自由米価格(スポット価格)は、平成23年11月1日の価格を100として指数化したもの。



### イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期近限月)

※期近限月の終値は、平成23年11月1日の終値を100として指数化したもの。  
自由米価格(スポット価格)は、平成23年10月27日の価格を100として指数化したもの。

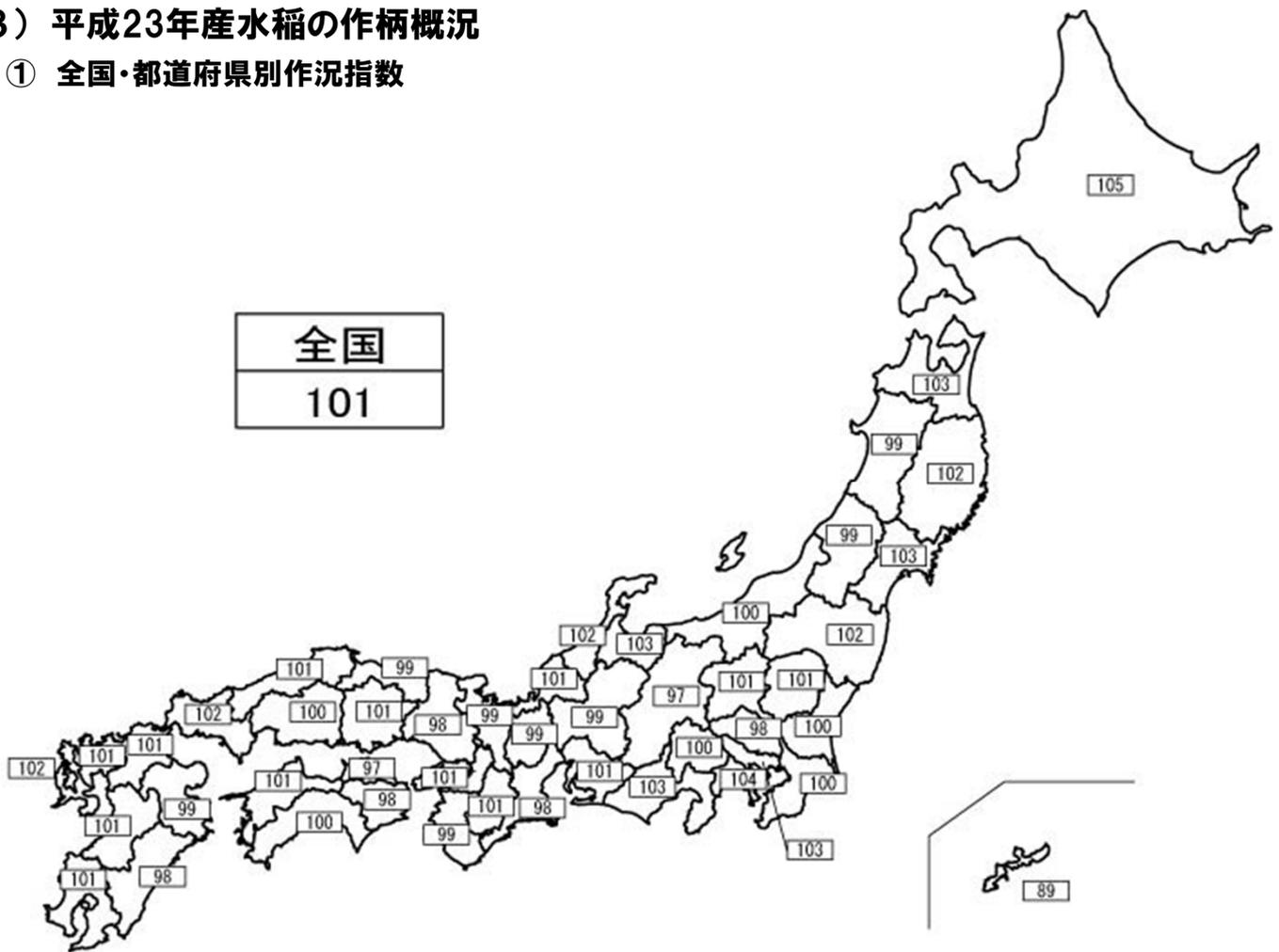


注1: 東京穀物商品取引所・関西商品取引所の公表データ及び株式会社米穀データバンクが「米穀市況速報」で公表している自由米価格データをもとに農林水産省において作成。

注2: 自由米価格(スポット価格)は、10トン以上の仲間相場における価格(1等、包装代込み、消費税抜き。)であり、茨城・栃木・千葉コシヒカリは、東京着基準。石川・福井コシヒカリは、大阪市内着基準。

### (3) 平成23年産水稻の作柄概況

#### ① 全国・都道府県別作況指数



注:「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率である。  
 出典:農林水産省「平成23年産水陸稲の収穫量」

#### ② 平成23年産水陸稲の収穫量(全国農業地域別)

全国農業地域	水陸稲計		水稲						
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用) ①	10a当たり 収 量 ②	収 穫 量 (子 実 用) ③=①×②	参 考			
						主食用 作付面積 ④	収 穫 量 (主 食 用) ⑤=④×②	10a 当 たり 平 年 収 量 ⑥	作 況 指 数 ⑦=②/⑥
ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg		
全 国	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101
北 海 道	112,900	634,500	112,900	562	634,500	109,100	613,100	535	105
東 北	389,000	2,199,000	389,000	565	2,199,000	370,900	2,096,000	558	101
北 陸	208,800	1,122,000	208,800	537	1,122,000	195,500	1,050,000	533	101
関東・東山	298,000	1,582,000	295,600	533	1,577,000	289,700	1,546,000	535	100
東 海	102,400	514,400	102,400	502	514,400	101,500	510,400	503	100
近 畿	109,300	551,200	109,300	504	551,200	107,700	542,800	509	99
中 国	115,100	600,400	115,100	522	600,400	113,200	590,500	517	101
四 国	56,200	268,600	56,200	478	268,600	55,900	267,100	484	99
九 州	183,500	927,000	183,500	505	927,000	181,300	915,400	503	100
沖 縄	921	2,540	921	276	2,540	921	2,540	309	89

注1:作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。  
 注2:主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。  
 注3:収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 出典:農林水産省「平成23年産水陸稲の収穫量」

### ③ 水陸稲(子実用)の年次別推移(全国)

年 産	水 陸 稲 計		水 稲						
	作 付 面 積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考			作 況 指 数
						主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg	
昭和55年産	2,377,000	9,751,000	2,350,000	412	9,692,000	...	...	471	87
56	2,278,000	10,259,000	2,251,000	453	10,204,000	...	...	474	96
57	2,257,000	10,270,000	2,230,000	458	10,212,000	...	...	477	96
58	2,273,000	10,366,000	2,246,000	459	10,308,000	...	...	478	96
59	2,315,000	11,878,000	2,290,000	517	11,832,000	...	...	479	108
60	2,342,000	11,662,000	2,318,000	501	11,613,000	...	...	481	104
61	2,303,000	11,647,000	2,280,000	508	11,592,000	...	...	484	105
62	2,146,000	10,627,000	2,123,000	498	10,571,000	...	...	487	102
63	2,110,000	9,935,000	2,087,000	474	9,888,000	...	...	490	97
平成元年産	2,097,000	10,347,000	2,076,000	496	10,297,000	...	...	492	101
2	2,074,000	10,499,000	2,055,000	509	10,463,000	...	...	494	103
3	2,049,000	9,604,000	2,033,000	470	9,565,000	...	...	497	95
4	2,106,000	10,573,000	2,092,000	504	10,546,000	...	...	498	101
5	2,139,000	7,834,000	2,127,000	367	7,811,000	...	...	499	74
6	2,212,000	11,981,000	2,200,000	544	11,961,000	...	...	499	109
7	2,118,000	10,748,000	2,106,000	509	10,724,000	...	...	501	102
8	1,977,000	10,344,000	1,967,000	525	10,328,000	...	...	502	105
9	1,953,000	10,025,000	1,944,000	515	10,004,000	...	...	504	102
10	1,801,000	8,960,000	1,793,000	499	8,939,000	...	...	507	98
11	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	...	...	512	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	...	...	518	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	...	...	518	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	...	...	522	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	...	...	524	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	...	...	525	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	...	...	527	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	...	...	529	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	...	...	529	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101

注1:作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

注2:主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。

注3:「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

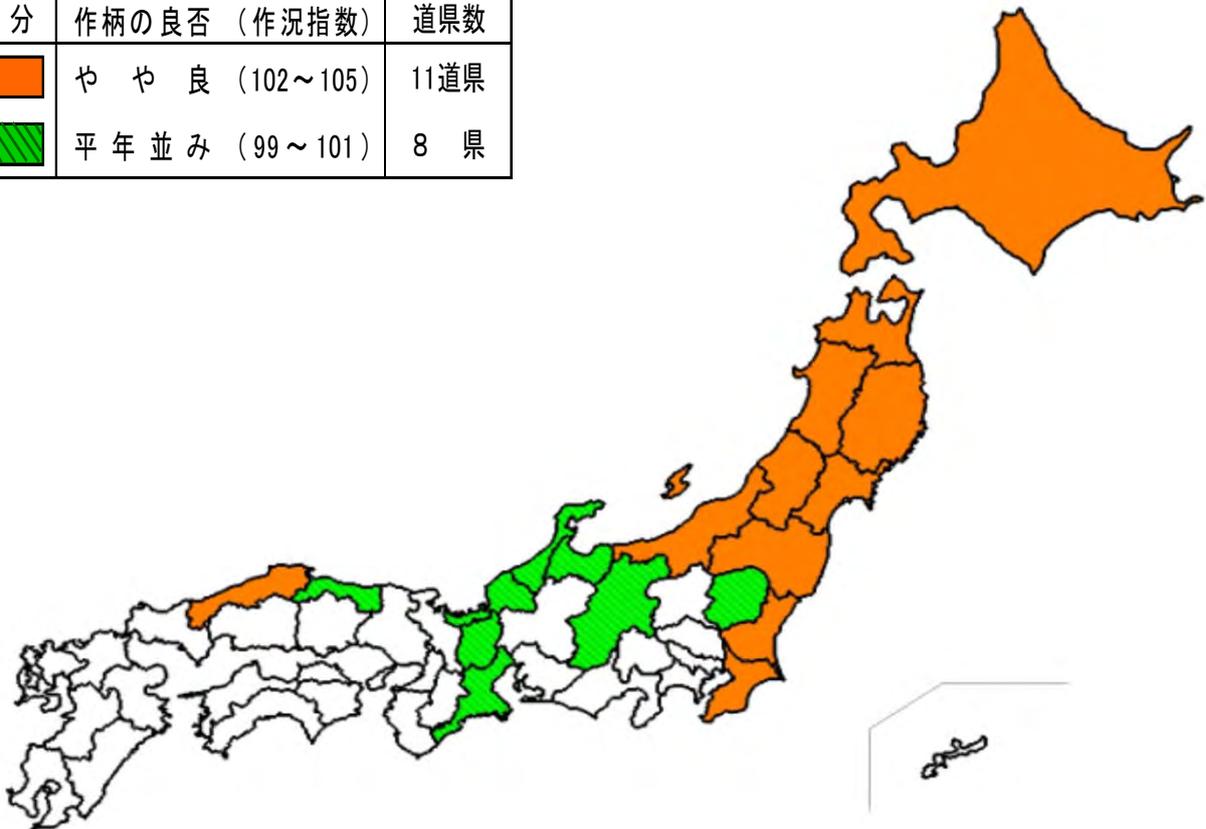
出典:農林水産省「平成23年産水陸稲の収穫量」

## (4) 平成24年産水稻の作柄概況

### ① 早場地帯の作柄の良否

凡例

区分	作柄の良否（作況指数）	道県数
	やや良（102～105）	11道県
	平年並み（99～101）	8 県



注1：早場地帯とは、8月15日現在の収穫済面積割合が平年ベースでおおむね8割以上を占める道県であり、遅場地帯とはそれ以外の都府県である。

注2：作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

出典：農林水産省「平成24年産水稻の8月15日現在における作柄状況」

② 平成24年産水稲早場地帯の作柄状況(8月15日現在)

区 分	平 年 比 較				
	作柄の良否	穂数の多少	一穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
北海道	やや良	やや多い	やや多い	やや多い	平年並み
青森	やや良	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
岩手	やや良	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み
宮城	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
秋田	やや良	平年並み	やや少ない	平年並み	やや良
山形	やや良	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み
福島	やや良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
茨城	やや良	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
栃木	平年並み	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良
千葉	やや良	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
新潟	やや良	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
富山	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良
石川	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福井	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
長野	平年並み	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
三重	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
滋賀	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
鳥取	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
島根	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み

注1:本表で用いる作柄の良否の表示区分は、「良」が作況指数106以上、「やや良」が105～102、「平年並み」が101～99、「やや不良」が98～95、「不良」が94以下に相当する。

注2:本表で「穂数の多少」、「一穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が対平年比106%以上、「やや多い(やや良)」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや少ない(やや不良)」が同98～95%、「少ない(不良)」が同94%以下相当する。

注3:全国の水稲作付面積に占める早場地帯の割合は、平成23年産で66.1%となっている。

出典:農林水産省「平成24年産水稲の8月15日現在における作柄状況」

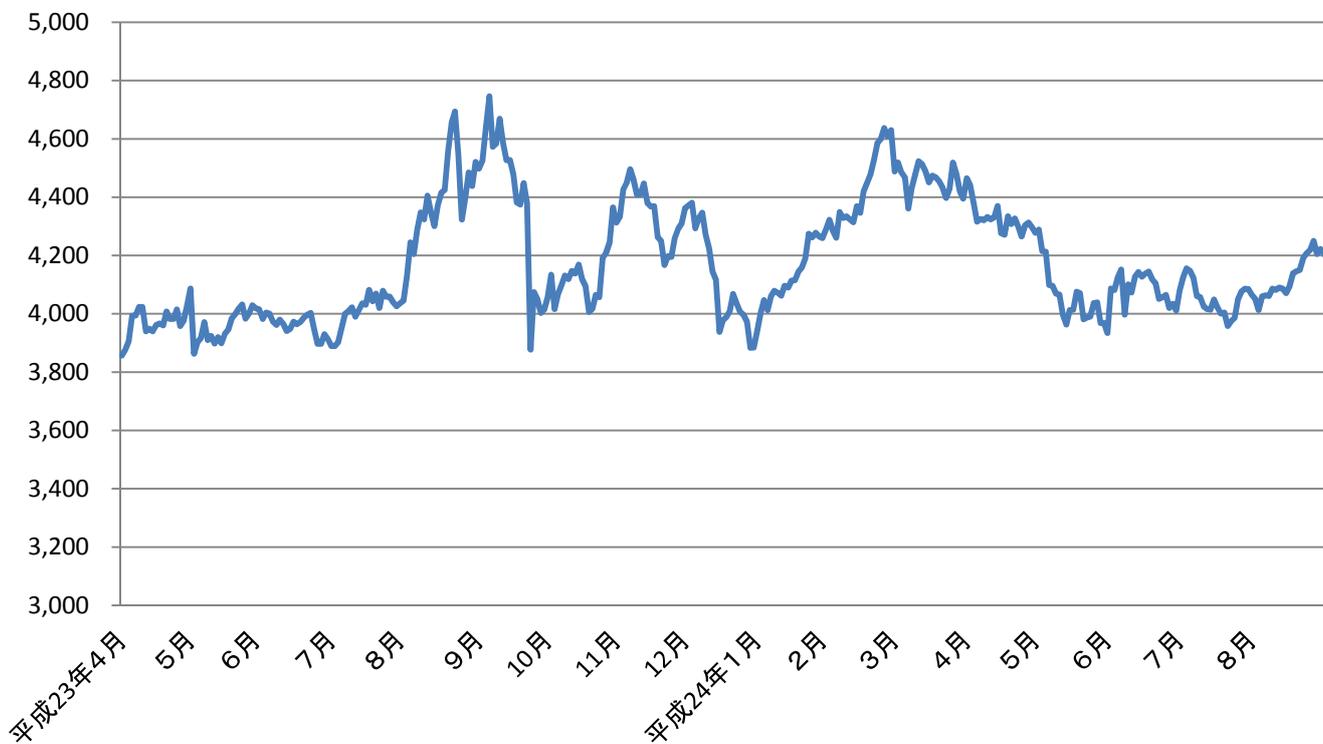
## (5) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向

### ① 工業品の動向(東京工業品取引所)

#### ア 価格動向の推移

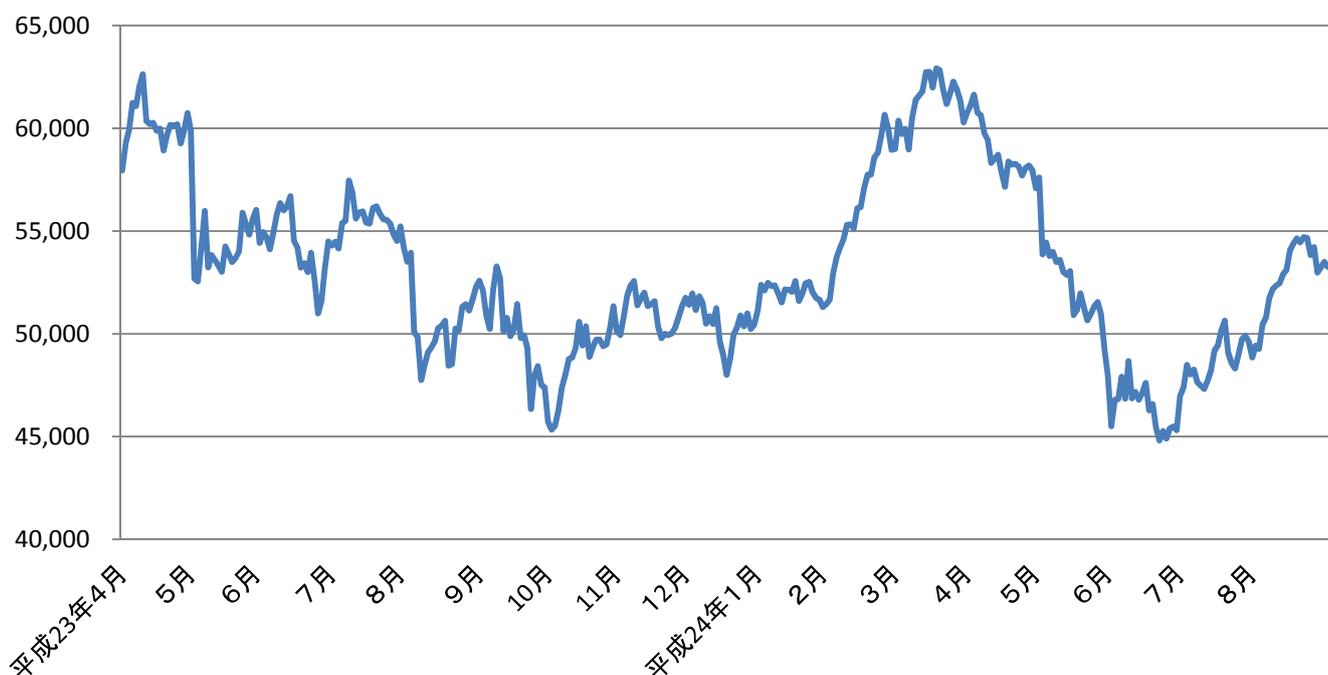
##### (ア) 金

(単位:円/1g)



##### (イ) 原油

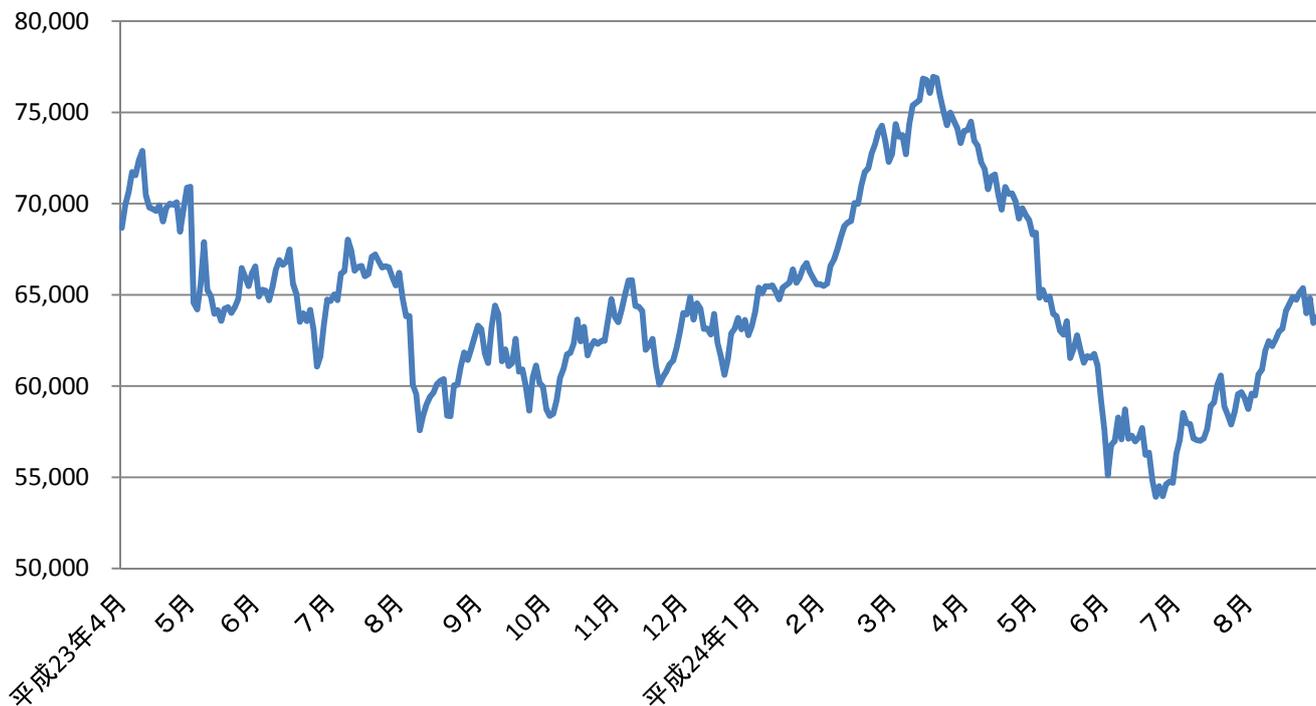
(単位:円/1kl)



注：平成23年4月から平成24年8月末までの期先限月の終値又は帳入値。  
資料：東京工業品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

### (ウ) ガソリン

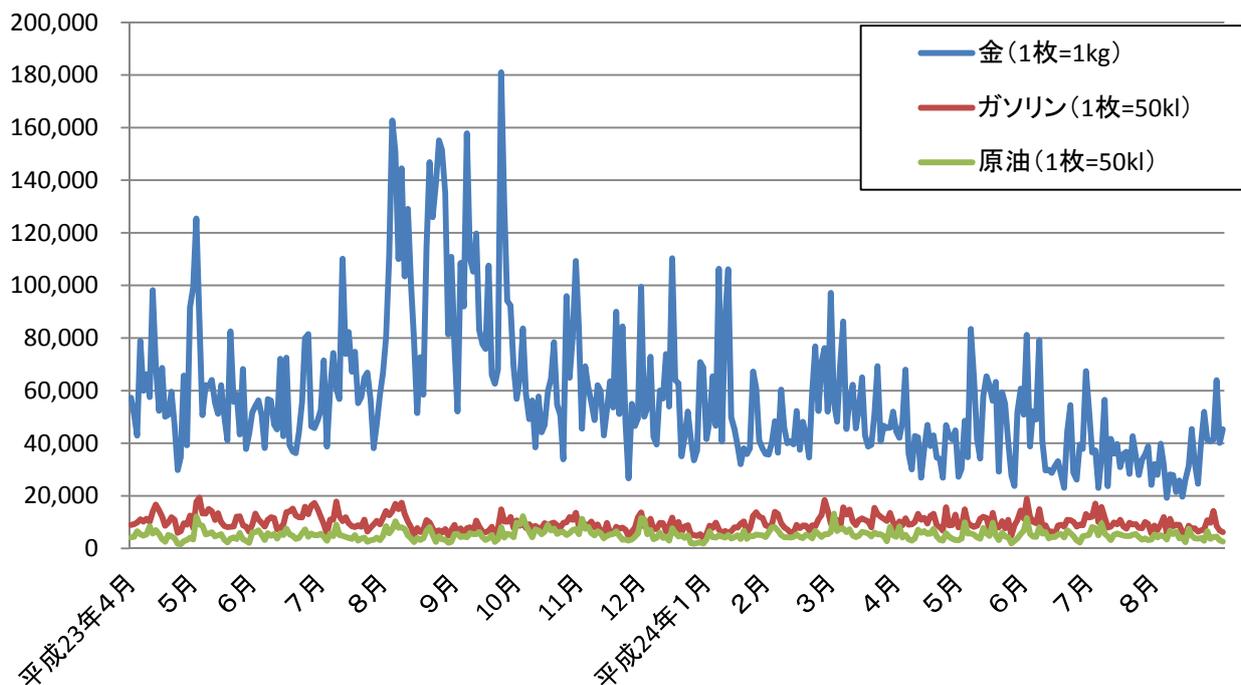
(単位:円/1kl)



注：平成23年4月から平成24年8月末までの期先限月の終値又は帳入値。  
資料：東京工業品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

### イ 出来高の推移(金、原油及びガソリン)

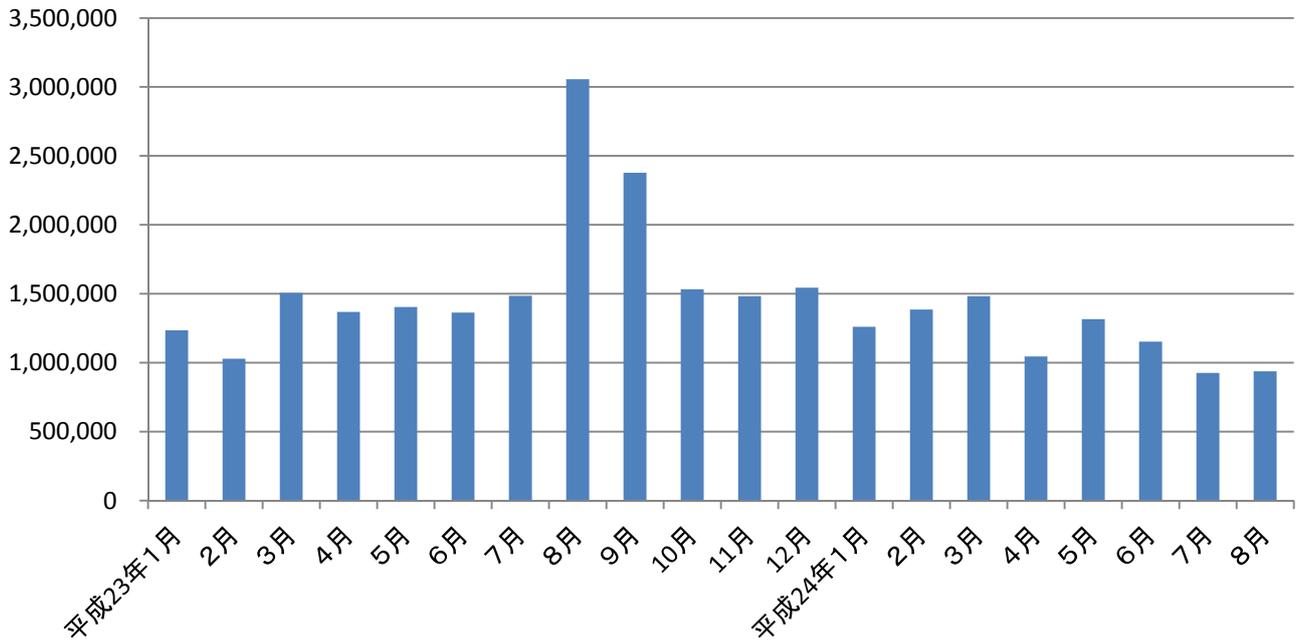
(単位:枚)



注：平成23年4月から平成24年8月末までの出来高。  
資料：東京工業品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

## ウ 東京工業品取引所の金の月間出来高

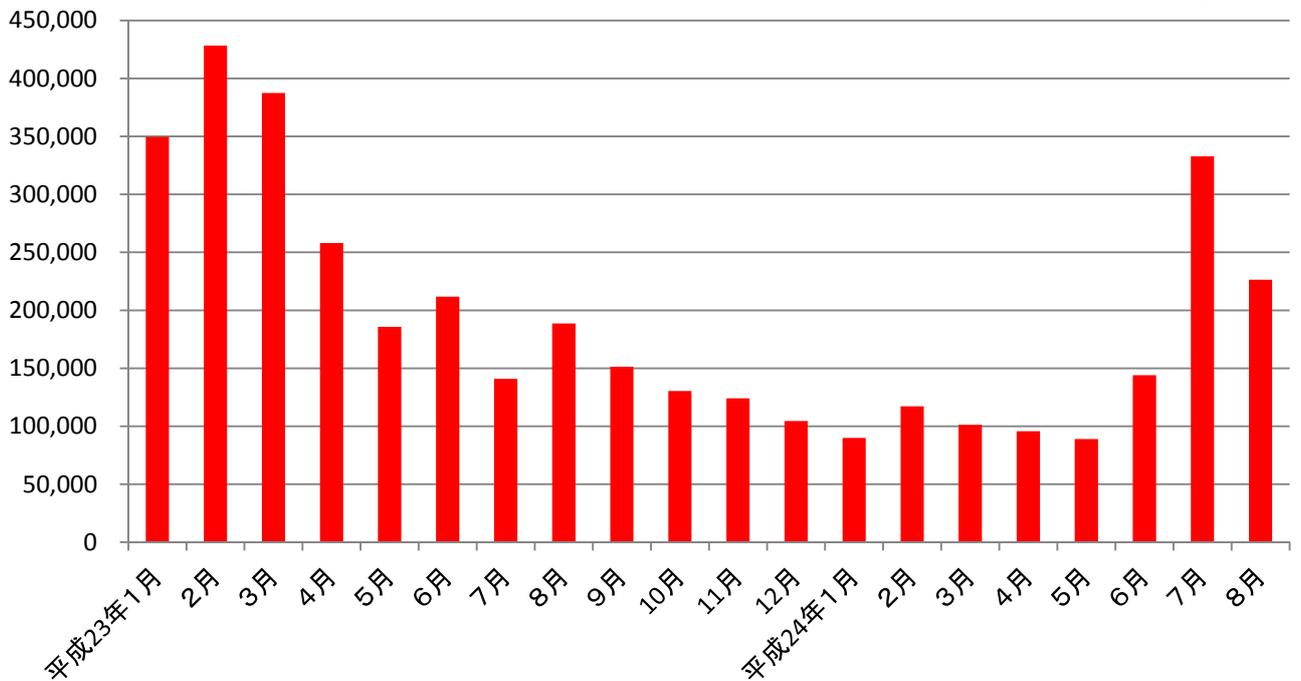
(単位:枚)



注:平成23年1月から平成24年8月までの金(金ミニを含む。)の月間出来高。  
資料:日本商品清算機構HP「商品取引所出来高速報等」

## (参考) 東京穀物商品取引所の月間出来高

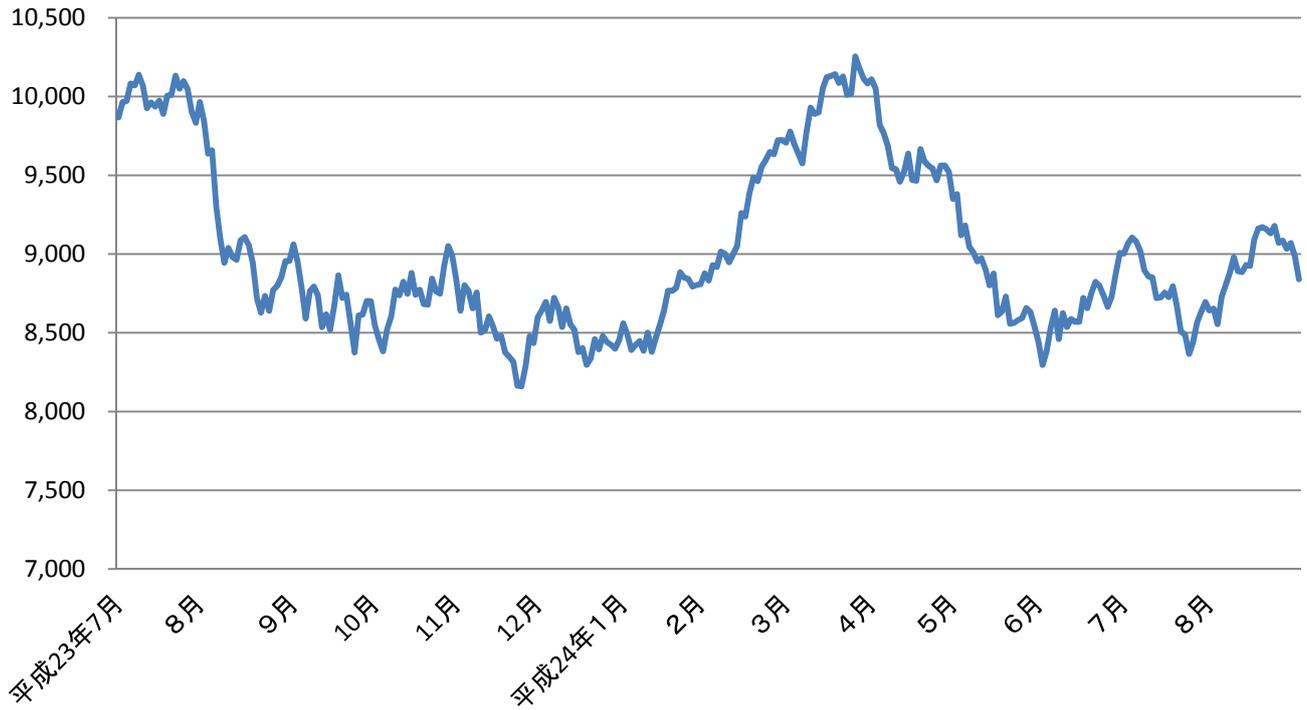
(単位:枚)



注:平成23年1月から平成24年8月までの東京穀物商品取引所の月間出来高。

## ② 株価の動向(日経平均株価(225種))

(単位:円)

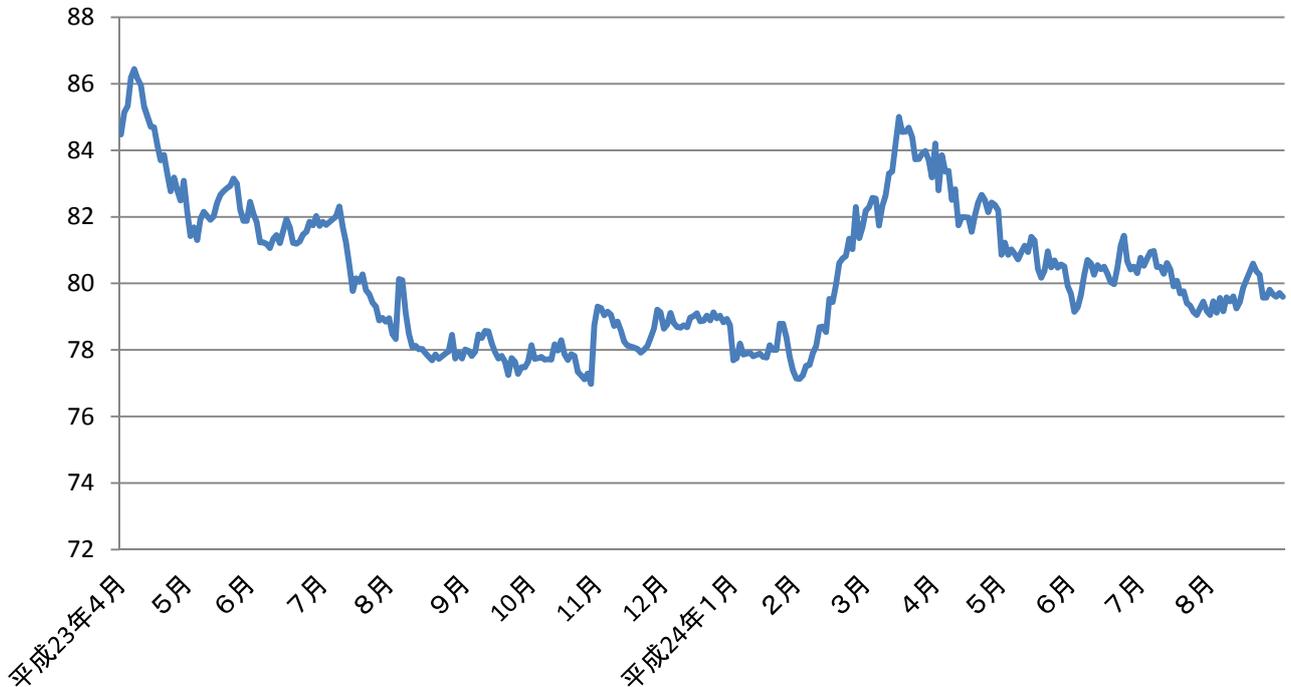


注：平成23年7月から平成24年8月末までの日経平均株価（東京証券取引所第1部上場企業から選定された225銘柄で構成）の終値。

出典：(C) 日本経済新聞社

## ③ 為替の動向(対米ドル、TTS)

(単位:円)



注：平成23年4月から平成24年8月末までの三菱東京UFJ銀行公表のTTS（円貨から外貨預金に預け入れるときの換算相場）。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社HP「過去の外国為替相場一覧表」



## 3. データ集

(1) 東京穀物商品取引所の取引価格データ (始値、高値、安値、終値、帳入値段)

(24年6月限)

(単位：円)

取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20120601	17,200	17,200	17,000	17,000	17,000
20120604	17,270	17,270	16,800	16,800	16,800
20120605	16,800	16,900	16,800	16,900	16,850
20120606	16,750	16,750	16,700	16,700	16,700
20120607	16,700	16,880	16,600	16,880	16,880
20120608	16,590	16,800	16,590	16,800	16,800
20120611	16,800	16,940	16,390	16,530	16,530
20120612	16,530	16,700	16,500	16,700	16,690
20120613	16,500	16,510	16,500	16,510	16,510
20120614	16,500	16,700	16,450	16,500	16,500
20120615	16,200	16,200	16,100	16,150	16,400
20120618	16,420	16,600	16,420	16,600	16,600
20120619	16,650	16,650	16,510	16,600	16,600
20120620	16,600	16,850	16,600	16,850	16,850

(8月限)

(単位：円)

取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20120601	16,070	16,070	15,810	15,810	16,020
20120604	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100
20120605	16,100	16,100	16,000	16,000	16,000
20120606	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
20120607	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
20120608	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200
20120611	16,300	16,300	15,810	15,810	15,840
20120612	15,840	15,840	15,840	15,840	15,840
20120613	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
20120614	16,000	16,000	15,990	15,990	15,990
20120615	15,990	15,990	15,990	15,990	15,990
20120618	15,990	15,990	15,900	15,900	15,980
20120619	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
20120620	15,990	15,990	15,860	15,860	15,920
20120621	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920
20120622	15,920	15,920	15,630	15,630	15,630
20120625	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120626	15,500	15,500	15,250	15,370	15,370
20120627	15,120	15,410	15,120	15,350	15,350
20120628	15,210	15,210	15,210	15,210	15,210
20120629	15,350	15,500	15,350	15,500	15,500
20120702	15,500	15,500	15,450	15,500	15,500
20120703	15,210	15,230	15,210	15,230	15,230
20120704	15,260	15,300	15,260	15,300	15,310
20120705	15,310	15,600	15,310	15,600	15,600
20120706	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
20120709	15,600	15,990	15,600	15,960	15,960
20120710	15,960	15,960	15,960	15,960	15,960
20120711	15,960	15,960	15,960	15,960	15,940
20120712	15,940	15,940	15,900	15,900	15,890
20120713	15,770	15,770	15,700	15,710	15,680
20120717	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120718	15,840	15,840	15,450	15,450	15,450
20120719	15,450	15,450	15,250	15,300	15,300
20120720	15,300	15,300	15,230	15,230	15,230
20120723	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
20120724	15,250	15,250	15,250	15,250	15,260
20120725	15,260	15,260	15,260	15,260	15,310
20120726	15,310	15,310	15,310	15,310	15,360
20120727	15,250	15,490	15,250	15,490	15,490
20120730	15,500	15,850	15,500	15,850	15,850
20120731	15,850	15,850	15,800	15,800	15,800
20120801	15,800	15,860	15,800	15,860	15,860
20120802	15,380	15,860	15,380	15,860	15,860
20120803	15,860	15,860	15,860	15,860	15,860
20120806	15,380	15,380	15,380	15,380	15,380
20120807	15,380	15,680	15,380	15,680	15,680
20120808	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120809	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120810	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120813	-	-	-	-	15,680
20120814	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120815	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120816	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120817	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680
20120820	15,680	15,680	15,680	15,680	15,680

(7月限)

(単位：円)

取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20120601	16,890	17,000	16,890	17,000	17,000
20120604	17,000	17,000	16,800	16,800	16,800
20120605	16,800	16,800	16,800	16,800	16,800
20120606	16,560	16,560	16,560	16,560	16,560
20120607	16,560	16,560	16,560	16,560	16,600
20120608	16,600	16,600	16,600	16,600	16,620
20120611	16,620	16,620	16,600	16,600	16,600
20120612	16,600	16,600	16,600	16,600	16,600
20120613	16,600	16,600	16,600	16,600	16,600
20120614	16,610	16,610	16,600	16,600	16,600
20120615	16,510	16,600	16,510	16,600	16,600
20120618	16,550	16,600	16,550	16,600	16,600
20120619	16,550	16,560	16,550	16,550	16,550
20120620	16,550	16,600	16,550	16,600	16,600
20120621	16,410	16,410	16,410	16,410	16,410
20120622	16,410	16,410	16,000	16,100	16,100
20120625	16,090	16,090	16,090	16,090	16,090
20120626	16,090	16,090	16,090	16,090	16,070
20120627	16,070	16,070	15,910	15,910	15,910
20120628	15,910	15,910	15,910	15,910	15,910
20120629	15,910	16,290	15,910	16,240	16,240
20120702	16,240	16,300	16,100	16,200	16,200
20120703	15,700	16,190	15,700	16,190	16,190
20120704	16,030	16,030	16,030	16,030	16,080
20120705	16,010	16,200	16,010	16,200	16,200
20120706	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200
20120709	16,100	16,100	16,100	16,100	16,150
20120710	16,150	16,200	16,150	16,170	16,170
20120711	16,170	16,200	16,170	16,200	16,200
20120712	15,930	16,270	15,930	16,270	16,270
20120713	15,930	16,150	15,930	16,150	16,150
20120717	15,950	16,150	15,950	16,150	16,150
20120718	16,150	16,150	16,150	16,150	15,550
20120719	14,950	15,220	14,950	15,210	15,210
20120720	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100

注1：帳入値段とは、取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した値段。

注2：始値とは、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。

注3：出来高がない場合の始値、高値、安値、終値は「-」。

注4：休業日を除く。

注5：平成24年5月限以前のデータについては、本レポートバックナンバーを参照。

URL: <http://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/dealing/index.html>

(9月限)					
取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20120601	15,330	15,480	15,330	15,480	15,400
20120604	15,400	15,780	15,320	15,320	15,330
20120605	15,180	15,200	15,180	15,200	15,200
20120606	15,200	15,200	15,110	15,110	15,110
20120607	15,110	15,260	15,100	15,260	15,260
20120608	15,260	15,260	15,260	15,260	15,260
20120611	15,260	15,260	15,150	15,150	15,150
20120612	15,440	15,440	15,350	15,350	15,350
20120613	15,350	15,350	15,350	15,350	15,350
20120614	15,350	15,350	15,300	15,300	15,300
20120615	15,470	15,510	15,470	15,510	15,510
20120618	15,510	15,610	15,470	15,500	15,660
20120619	15,660	15,660	15,660	15,660	15,660
20120620	15,660	15,660	15,660	15,660	15,630
20120621	15,630	15,630	15,630	15,630	15,530
20120622	15,580	15,580	15,300	15,470	15,470
20120625	15,470	15,470	15,470	15,470	15,470
20120626	15,470	15,470	15,470	15,470	15,470
20120627	15,470	15,470	15,470	15,470	15,470
20120628	15,470	15,470	15,470	15,470	15,470
20120629	15,470	15,600	15,470	15,600	15,600
20120702	15,600	15,600	15,500	15,500	15,500
20120703	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120704	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120705	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120706	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120709	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120710	15,260	15,260	15,260	15,260	15,260
20120711	15,260	15,260	15,110	15,110	15,110
20120712	15,130	15,130	15,000	15,110	15,110
20120713	15,110	15,410	15,110	15,410	15,410
20120717	15,410	15,670	15,410	15,670	15,660
20120718	15,430	15,600	15,430	15,600	15,600
20120719	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
20120720	15,600	15,600	15,310	15,310	15,310
20120723	15,310	15,590	15,310	15,550	15,550
20120724	15,550	15,550	15,200	15,200	15,200
20120725	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200
20120726	15,010	15,350	15,010	15,350	15,340
20120727	15,340	15,350	15,200	15,350	15,340
20120730	15,340	15,440	15,340	15,430	15,430
20120731	15,430	15,550	15,430	15,550	15,550
20120801	15,550	15,550	15,550	15,550	15,550
20120802	15,550	15,550	15,550	15,550	15,550
20120803	15,550	15,550	15,550	15,550	15,550
20120806	15,550	15,550	15,550	15,550	15,550
20120807	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
20120808	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
20120809	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
20120810	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300
20120813	15,350	15,350	15,350	15,350	15,350
20120814	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300
20120815	15,300	15,300	15,100	15,100	15,100
20120816	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100
20120817	15,100	15,200	15,100	15,200	15,200
20120820	15,000	15,200	15,000	15,200	15,200
20120821	15,200	15,200	15,030	15,030	15,030
20120822	15,030	15,030	15,030	15,030	15,030
20120823	15,030	15,030	15,030	15,030	15,030
20120824	15,030	15,030	15,030	15,030	15,030
20120827	15,020	15,020	14,980	14,980	14,980
20120828	14,900	14,930	14,900	14,900	14,850
20120829	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850
20120830	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850
20120831	14,850	14,850	14,800	14,800	14,800

(10月限)					
取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20120601	15,200	15,250	15,200	15,250	15,250
20120604	15,360	15,500	15,350	15,350	15,350
20120605	15,350	15,350	15,350	15,350	15,350
20120606	15,350	15,350	15,110	15,110	15,110
20120607	15,290	15,290	15,100	15,100	15,110
20120608	15,120	15,400	15,120	15,380	15,380
20120611	15,380	15,380	15,100	15,300	15,300
20120612	15,200	15,490	15,200	15,490	15,480
20120613	15,480	15,500	15,480	15,500	15,500
20120614	15,500	15,500	15,430	15,430	15,430
20120615	15,340	15,500	15,340	15,500	15,500
20120618	15,500	15,500	15,500	15,500	15,520
20120619	15,530	15,980	15,530	15,740	15,740
20120620	15,620	15,970	15,620	15,750	15,750
20120621	15,570	15,660	15,570	15,660	15,660
20120622	15,660	15,660	15,620	15,620	15,620
20120625	15,720	15,720	15,490	15,610	15,590
20120626	15,650	15,650	15,650	15,650	15,610
20120627	15,610	15,610	15,570	15,570	15,570
20120628	15,570	15,570	15,570	15,570	15,570
20120629	15,570	15,830	15,570	15,830	15,830
20120702	15,610	15,980	15,610	15,980	15,950
20120703	15,950	15,950	15,650	15,650	15,650
20120704	15,640	15,910	15,630	15,700	15,700
20120705	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700
20120706	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700
20120709	15,700	15,900	15,700	15,900	15,900
20120710	15,700	15,800	15,700	15,800	15,800
20120711	15,800	15,800	15,500	15,500	15,510
20120712	15,520	15,670	15,510	15,510	15,510
20120713	15,670	15,770	15,670	15,770	15,740
20120717	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720
20120718	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720
20120719	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720
20120720	15,720	15,720	15,510	15,510	15,510
20120723	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
20120724	15,780	15,780	15,520	15,520	15,520
20120725	15,520	15,520	15,510	15,510	15,510
20120726	15,310	15,340	15,310	15,340	15,380
20120727	15,380	15,380	15,360	15,360	15,360
20120730	15,360	15,400	15,350	15,400	15,400
20120731	15,390	15,550	15,390	15,550	15,550
20120801	15,550	15,550	15,550	15,550	15,550
20120802	15,550	15,550	15,500	15,500	15,500
20120803	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120806	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
20120807	15,390	15,450	15,390	15,450	15,450
20120808	15,580	15,580	15,580	15,580	15,580
20120809	15,580	15,580	15,580	15,580	15,580
20120810	15,580	15,580	15,500	15,500	15,500
20120813	15,550	15,550	15,550	15,550	15,550
20120814	15,550	15,550	15,360	15,400	15,400
20120815	15,400	15,500	15,400	15,500	15,500
20120816	15,500	15,500	15,500	15,500	15,470
20120817	15,410	15,500	15,400	15,400	15,400
20120820	15,540	15,540	15,450	15,450	15,440
20120821	15,440	15,440	15,200	15,200	15,200
20120822	15,200	15,220	15,200	15,220	15,230
20120823	15,490	15,490	15,490	15,490	15,490
20120824	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200
20120827	15,200	15,200	15,200	15,200	15,210
20120828	15,210	15,210	15,100	15,100	15,100
20120829	15,110	15,110	15,110	15,110	15,110
20120830	15,110	15,120	15,110	15,120	15,120
20120831	15,120	15,120	15,120	15,120	15,120











## 4. 參考資料

東京穀物商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100Bq/kgと決定したことについて

株式会社東京穀物商品取引所  
問合せ先 営業広報部  
(電話 03-3668-9317)

放射性物質の新基準値施行後の米穀受渡供用品の取扱いについて

厚生労働省は、平成23年3月の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、食品の安全性を確保する観点から食品中の放射性物質の暫定規制値を設定していますが、より一層、食品の安全と安心を確保するため、食品衛生法に基づく新基準値を設定し、その施行・適用日は本年4月1日が予定されています。新基準値案では、米穀について現在の暫定基準値500Bq/kgから100Bq/kgに引き下げることとされており、経過期間として本年9月30日までの間は、500Bq/kgを超える放射性セシウムを含有するものであってはならないこととしています。

本取引所では、米穀先物の受渡供用品について、米穀受渡細則第2条第6号に基づき「一般流通品以上の品位を有するもの」としておりますが、現物流通における対応実態及び農林水産省からも「経過措置期間において新基準値を超える米穀を現物受渡しの対象とすることは望ましくない」との考え方が示されたこと等を踏まえ、平成24年2月21日開催の取締役会において、業務規程第10条第6項及び第223条に基づき、下記の通り決定いたしましたので、お知らせ致します。

記

放射性物質の基準値にかかる本取引所の米穀の受渡供用品の取扱いについて、食品衛生法に基づく新基準値への改正が施行(本年4月1日を予定)された後は、業務規程第10条第6項及び第223条に基づき、新基準値(100Bq/kgの予定)を超える米穀については、経過期間にかかわらず、米穀受渡細則第2条第6号の「一般流通品以上の品位を有するもの」に該当しないものとして取扱うものとする。

関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100Bq/kgと決定したことについて

関 西 商 品 取 引 所

食品衛生法に基づく放射性物質の新基準値への改正施行後における本所の米穀の受渡供用品の取扱いについて

厚生労働省は、平成23年3月の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、食品の安全性を確保する観点から食品中の放射性物質の暫定規制値を設定していますが、より一層、食品の安全と安心を確保するため、食品衛生法に基づく新基準値を設定し、その施行・適用日は本年4月1日が予定されています。新基準値案では、米穀について現在の暫定基準値500Bq/kgから100Bq/kgに引き下げることでされており、経過期間として本年9月30日までの間は、500Bq/kgを超える放射性セシウムを含有するものであってはならないこととしています。

本所では、従来より農産物市場における受渡供用品については、「一般流通品以上の品位を有するもの」としておりますが、現物流通における対応実態及び農林水産省からも「経過措置期間において新基準値を超える米穀を現物受渡しの対象とすることは望ましくない」との考え方が示されたこと等を踏まえ、平成24年2月21日開催の理事会において、業務規程第8条第6項及び第187条に基づき、下記の通り決定いたしましたので、貴社関係部署、委託者等に周知いただきますようお願い申し上げます。

記

放射性物質の基準値にかかる本取引所の米穀の受渡供用品の取扱いについて、食品衛生法に基づく新基準値への改正が施行(本年4月1日を予定)された後は、業務規程第8条第6項及び第187条に基づき、新基準値(100Bq/kgの予定)を超える米穀については、経過期間にかかわらず、「一般流通品以上の品位を有するもの」に該当しないものとして取扱うものとする。

東京穀物商品取引所 業務規定の一部変更（受渡地の拡大、合意早受渡し）

東京穀物商品取引所 業務規定の一部変更（受渡地の拡大、合意早受渡し）

変更	現行
<p>(受渡しの場所) 第112条の2 受渡しの場所は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び北海道に所在する指定倉庫とする。</p> <p>(合意早受渡し) 第112条の18 受渡当事者は、第10条第3項、第15条第1項第6号(受渡単位)、第43条第4項、第112条の2から第112条の6まで、第112条の8から第112条の13まで及び第112条の15の規定にかかわらず、受渡当事者が建玉の全部又は一部について受渡条件について合意し、第12条第1項第5号に規定する納会日前までに、その合意について当該建玉を有する市場取引参加者等を通じて本取引所に届け出、本取引所が承認した場合には、米穀の合意に基づく早受渡しの特例に定めるところにより受渡しを行うことができる。</p> <p>附則 第1条 第112条の2(受渡しの場所)の変更は、農林水産大臣の認可の日(平成24年3月26日から施行し、2012年10月限より適用する。また、第112条の18(合意早受渡し)の新設は、平成24年4月1日又は農林水産大臣の認可の日(平成24年3月26日)のいずれか遅い日から施行する。</p>	<p>(受渡しの場所) 第112条の2 受渡しの場所は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県及び栃木県に所在する指定倉庫とする。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

## ○米穀の合意に基づく早受渡しの特例

平成 24 年 3 月 26 日制定

### （目的）

第 1 条 本特例は、業務規程第 112 条の 18 の規定に基づき、米穀の受渡しに係る受渡当事者の利便を図るため、米穀の早受渡しに関する特例の範囲を定める。

### （受渡供用品）

第 2 条 本特例により受渡しされる供用品は、国内産水稻うるち玄米とする。

### （受渡しの場所）

第 3 条 受渡しの場所は、日本国内における双方の合意した場所とする。

### （受渡日）

第 4 条 受渡日は、新甫発会日の翌営業日から、当該限月の納会日の前営業日までとする。

### （受渡値段及び受渡代金並びに消費税）

第 5 条 受渡値段及び受渡代金並びに消費税の算出は、次のとおりとする。

- (1) 受渡値段は、次条の届出書に記載された受渡日の前営業日における当該限月の帳入値段とする
- (2) 受渡代金は、前号の受渡値段に受渡当事者間で合意した格差を加減して得た金額に、次条の届出書に記載された受渡重量（呼値の単位で換算した数値）を乗じて得た金額（円未満の端数は四捨五入する。）とする。
- (3) 受渡しに賦課される消費税は、前号に規定する受渡代金を課税標準として算出した金額（円未満の端数は切り捨てる。）とする。

### （合意早受渡し届出書）

第 6 条 業務規程第 112 条の 18 の規定により、双方の合意に基づいて本取引所で早受渡しを行うときは、双方は、その合意した内容の明細及び受渡日を明記した届出書を、連署をもって、受渡日の前営業日の午後 2 時までに本取引所に届け出るものとする。また当該届出書には、受渡日、受渡場所、受渡重量及び受渡方法等が記載され、当該受渡しが行われることが確認できる契約書等の書類の写しを添付するものとする。

2 本取引所は、当該合意早受渡しの届出を受理したときは、本取引所の米穀の早受渡

しが行われたものとして処理する。

#### (建玉決済枚数と受渡品の量目との関係)

第7条 合意早受渡しにより決済できる当該限月の建玉枚数については、受渡品の量目を業務規程第15条第1項第6号において規定する取引単位に換算させた枚数の範囲内において、受渡当事者間で合意した枚数とする。ただし、受渡品の量目を取引単位に換算させる場合において、最小取引単位に比し50%を超える端数量目については、当該端数量目を最小取引単位とみなして建玉を決済することができるものとする。

#### (受渡決済の方法)

第8条 受渡しについて、渡方は指定倉荷証券のほか、本取引所の確認できる受渡書類を本取引所に差し出して行うことができる。

2 前項の渡方の受渡書類の提出並びに受方の受渡代金及び受渡しに賦課される消費税額の納入時限は、受渡日の午後1時とする。

3 本取引所は、受方から受渡代金及び受渡しに賦課される消費税額が差し出されたときは、受方に指定倉荷証券又は受渡書類を交付し、渡方には、次項に規定する届出のあった翌営業日の午後1時まで、受渡代金及び受渡しに賦課される消費税額を交付するものとする。

4 受方は、受渡日の翌々営業日後の午後2時まで、受渡しが完了した旨を本取引所に届け出なければならない。

#### (受渡履行責任)

第9条 受渡当事者は、第6条の合意早受渡しの届出内容に従い双方の責任において、受渡しを履行しなければならない。

#### (合意内容の変更)

第10条 前条の規定にかかわらず、届出内容どおりの受渡しが困難となったときは、届出書に記載された受渡日の前営業日の午後2時まで双方の連署をもって当該合意内容の変更を本取引所に届け出、本取引所の承認を得るものとする。

2 本取引所は、前項の変更の届出を受理したときは、当該変更された届出により受渡しが行われたものとして処理し、受渡当事者は、当該届出内容に従い双方の責任において受渡しを履行しなければならない。

#### (故障の申立)

第11条 受方は、合意早受渡しにより受渡しされた受渡品について、故障の申立をすることができない。

(その他の措置)

第12条 本特例に定めていない事項については、受渡当事者間で処理するものとする。

(改廃)

第13条 本特例の改廃は、取締役会の決議をもって行うものとし、その改廃は既存限月についても適用することができる。

附則

本特例は、平成24年4月1日又は業務規程第112条の18（合意早受渡し）の新設が農林水産大臣に認可された日（平成24年3月26日）のいずれか遅い日から施行する。

東京穀物商品取引所の農産物市場の移管の方針について

株式会社東京穀物商品取引所  
(営業広報課/3668-9317)

建玉等の処理の移管について

本取引所は、農産物市場の維持・継続のため、2013年2月の3連休を目途に建玉等の処理を他の取引所(コメは関西商品取引所。大豆、小豆、とうもろこし及び粗糖は東京工業品取引所。)に移管することとなりましたので、お知らせいたします。

なお、移管日の前営業日までは本取引所において従来と同様にお取引いただけますし、移管日以降も移管先の取引所で引き続きお取引が可能(移管日までに取引を結了する必要はございません。)ですので、ご安心してお取引いただけますよう、お願い申し上げます。

東京穀物商品取引所・関西商品取引所の価格調整表

○東京穀物商品取引所（平成25年1～3月限適用、平成24年7月6日制定）

玄米60kgあたり

産地品種銘柄	平成24年産	
	1等	2等
関東コシヒカリ (茨城県産、栃木県産、千葉県産)	標準品	平成24年産1等の調整額から600円減額
福島県産コシヒカリ(会津)	+100円	
福島県産コシヒカリ(中通り)	-1,500円	
福島県産コシヒカリ(浜通り)	-1,500円	
新潟県産コシヒカリ	+2,000円	
富山県産コシヒカリ	+600円	
石川県産コシヒカリ	+300円	
福井県産コシヒカリ	+300円	
長野県産コシヒカリ	+300円	
その他府県産コシヒカリ	-300円	
岩手県産ひとめぼれ	-400円	
宮城県産ひとめぼれ	-400円	
秋田県産あきたこまち	-200円	
山形県産はえぬき	-600円	
北海道産ななつぼし	-1,000円	
北海道産きらら397	-1,000円	
青森県産つがるロマン	-1,000円	
青森県産まっしぐら	-1,000円	

○関西商品取引所（平成25年1～3月限適用、平成24年6月20日制定）

玄米60kgあたり

産地品種銘柄	平成24年産	
	1等	2等
北陸コシヒカリ(石川、福井)	標準品	平成24年産1等の調整額から600円減額
新潟県産コシヒカリ	+1,300円	
福島県産コシヒカリ(会津)	-400円	
福島県産コシヒカリ(中通り)	-2,000円	
福島県産コシヒカリ(浜通り)	-2,000円	
茨城県産コシヒカリ	-900円	
栃木県産コシヒカリ	-900円	
千葉県産コシヒカリ	-900円	
長野県産コシヒカリ	-200円	
富山県産コシヒカリ	+100円	
三重県産コシヒカリ	-300円	
滋賀県産コシヒカリ	-300円	
京都府産コシヒカリ	-300円	
兵庫県産コシヒカリ	-300円	
鳥取県産コシヒカリ	-300円	
島根県産コシヒカリ	-300円	
岡山県産コシヒカリ	-300円	
山口県産コシヒカリ	-300円	
熊本県産コシヒカリ	0円	
その他府県産コシヒカリ	-900円	

## 【本レポートの主な用語解説】

先物取引（さきものとりひき）	将来の一定の時期において、商品及びその対価の授受を約する売買取引であって、当該商品の現物の受渡し若しくは建玉の転売又は買い戻しによる差金の授受によって終了することのできる取引のこと。
限月（げんげつ）	先物取引において売買約定（やくじょう）を最終的に決済しなければならない月のこと。
発会（はっかい）	新しく取引される限月の最初の立会のこと、その日を新甫（しんぼ）発会日という。
納会（のうかい）	売買契約の決済期限となる取引の最後の立会のこと。納会までに反対売買によって取引を終了しなかった建玉は、受渡しにより決済することとなる。
期先（きさき）	先物取引において、現時点で決済期限を最も後に向かえる限月のことをいう。
期近（きちか）	先物取引において、現時点で決済期限を最も早くに向かえる限月のことをいう。
始値（はじまりね）	前場または後場の立会が始まった最初の値段のこと。
高値（たかね）	相場が高いこと。またはある期間内の一番高い値段のこと。
安値（やすね）	相場が安いこと。またある期間内の一番安い値段のこと。
終値（おわりね）	一日の最終約定値段のことをいう。
枚（まい）	取引所における取引の基本となる取引数量または受渡数量を表す最小取引単位の呼称のこと。
建玉（たてぎょく）	取引所において売買取引された売買約定によるもので、未決済のもの。
取組（とりぐみ）	売りと買いとが取り組むということから、成立した建玉を取組といい、この未決済売買契約の数量を「取組高」という。
売買高（ばいばいだか）	取引所における売りの数量と買いの数量の合計数量のこと。
出来高（できだか）	市場において売買約定の成立した数量のことをいう。
制限幅（せいげんはば）	相場が極端に上下し、市場が混乱することを避けるために、取引所が定めた一日に変動する最大の幅のこと。
早受渡し（はやうけわたし）	先物取引の受渡しは、当月限の一定日であって、それ以前は受渡しの必要はないが、受渡日到来前に受渡しを希望する者は取引所に申し出て、受渡日到来前でも受渡しを行うことのできる制度のことをいう。
商品先物取引法※（しょうひんさきものとりひきほう）	商品先物取引に関する法律。同法に基づき、商品取引所、商品取引清算機関、商品先物取引業者、商品先物取引協会（商品先物取引業者の自主規制組織）等に関する許認可・監督等を行っている。

出典：関西商品取引所HP「先物取引用語集」（※については、農林水産省が作成。）

### 【商品先物取引のリスクについて】

商品先物取引は、相場の変動幅が小さくても大きな額の利益又は損失が生ずるハイリスク・ハイリターン取引であり、また、商品先物市場の価格変動が予測に反して推移した場合には損失が発生する可能性や預託した取引証拠金等の全額を上回る損失が発生するおそれがあります。

商品先物取引を行う場合には、これらの点を含め、取引の仕組みやリスクについて十分に理解した上で、許可を受けた商品先物取引業者又は登録を受けた商品先物取引仲介業者を通じて行っていただきますようご注意願います。

この他、商品先物取引に関する注意点等については、農林水産省のホームページなどをご覧ください。

## 【利用上の注意】

- 1 「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、特に記載がない限り、商品取引所における日々の取引データから得られた情報をもとに農林水産省において作成したものです。
- 2 本レポートの作成に当たり情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性及び完全性について保証するものではなく、また、将来の市場環境の変動、運用成果等を約束又は予想するものではありません。本レポートに記載された情報の使用又は使用不能により生じた結果については、当省は一切の責任を負いかねます。
- 3 本レポートの引用等を行う場合は、出所を明記してください。

【農林水産省 食料産業局 商品取引グループHP（農産品関係）】

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/dealing/index.html>

【経済産業省 商務情報政策局商務流通グループ 商取引・消費経済政策課HP（工業品関係）】

<http://www.meti.go.jp/policy/commerce/index.html>

【東京穀物商品取引所HP】

<http://www.tge.or.jp/japanese/index.shtml>

【関西商品取引所HP】

<http://www.kanex.or.jp/index.html>

【東京工業品取引所HP】

<http://www.tocom.or.jp/jp/index.html>

【日本商品先物取引協会HP】

<http://www.nisshokyo.or.jp/index.html>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

食料産業局 商品取引グループ

担当者：溝口、今井

代表：03-3502-8111（内4177）

ダイヤルイン：03-6744-1860

FAX：03-3502-6847